

令和7年度

要 覧

2025 Outline



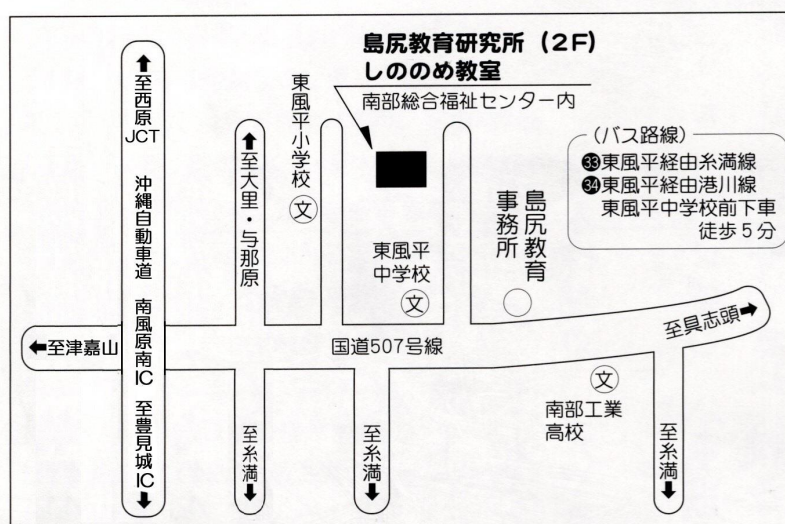
南部総合福祉センター

南部広域行政組合 島尻教育研究所

〒901-0401 沖縄県島尻郡八重瀬町字東風平965番地
南部総合福祉センター内2F TEL 098-998-9561 FAX 098-998-9420
E-mail info-simaken@nanbukouiki-okinawa.jp
U R L <http://www.nanbukouiki-okinawa.jp>

目 次

事業概要	1
沿 革	2
設置構想	4
運営方針	5
南部広域行政組合教育委員会・島尻教育研究所所員	5
事業の四本柱	5
事業概要	5
主な業務分掌	7
週時程の基本	8
年間行事計画	9
関係例規	12
長期研修員募集要項（離島・幼・小・中）	16
長期研修の概要	18
長期研修 所内講座実施計画	19
教育研究員研究テーマ一覧	21
こどもサポートルーム しののめ 経営計画	31

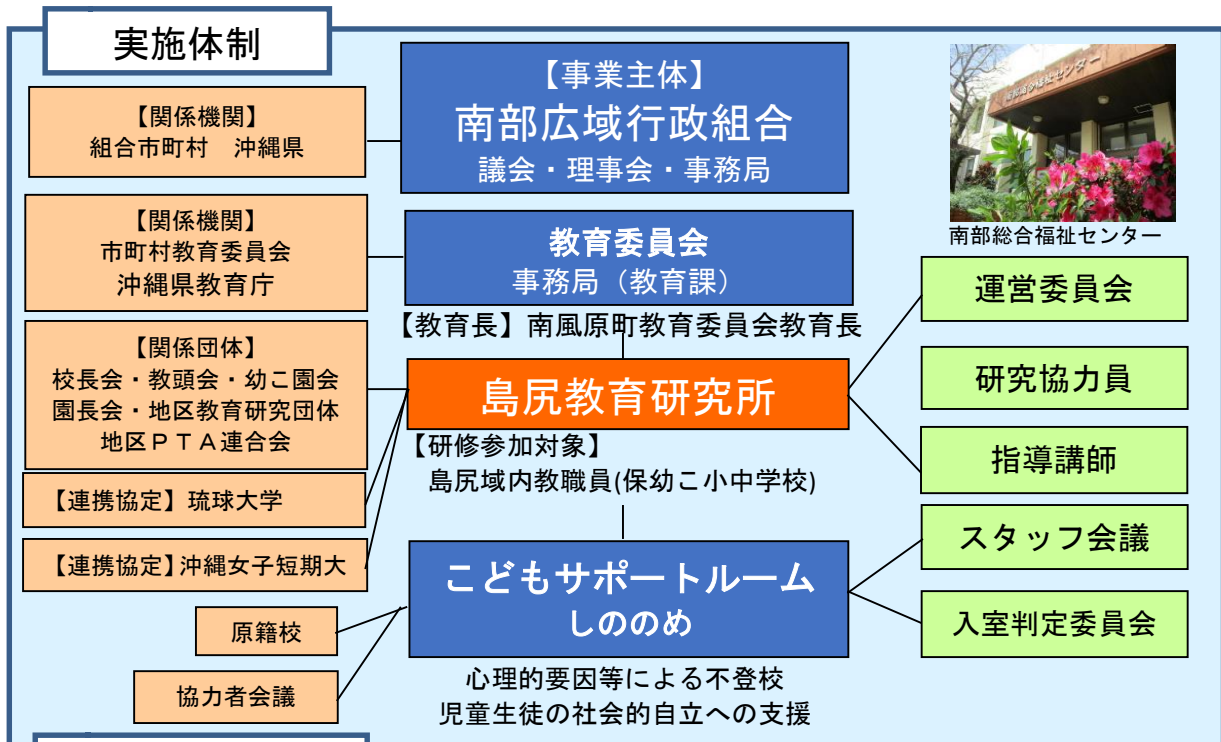


事業概要

南部広域行政組合島尻教育研究所

教育研究所費 (R7) : 31,872 千円
 こどもサポートルーム費 (R7) : 5,755 千円

- 事業主体：南部広域行政組合
- 事務所の位置：沖縄県島尻郡八重瀬町字東風平 965 番地
- 設置：平成6年4月1日
- 構成市町村：【島尻教育研究所】糸満市 豊見城市 南城市 八重瀬町 与那原町
 南風原町 渡嘉敷村 座間味村 栗国村 渡名喜村
 【こどもサポートルーム しののめ】八重瀬町 与那原町 南風原町
 渡嘉敷村 座間味村 栗国村 渡名喜村
- 事業内容：①教育に関する調査研究(教育研究員) ②教育関係職員の研修
 ③研究成果の普及及び教育相談 ④教育関係資料の収集及び活用
 ⑤南部広域行政組合教育委員会が必要と認める事業
- 職員：所長兼主任指導主事 指導主事(小中1名、幼児教育1名) こどもサポートルーム支援員



主な研修事業

- 【長期研修】 テーマ研究
 - 【短期研修】 校内研修支援事業
市町村教育委員会連携講座
離島出前講座
 - 【教育講演会】 教育先進招聘型
教育研究団体とのコラボ型
 - 【自主参加講座】 校内研修支援事業
市町村教育委員会連携講座
離島出前講座
 - 【調査研究】 教育先進地視察研修
調査研究園事業
- ・県内外の著名な専門家を講師に招聘
 - ・校種ごとのニーズに対応
 - ・教育研究団体や大学とのコラボ型の講演会を実施、各団体活性化を支援
 - ・幼小保、小、中学校教諭を対象に、自主参加講座を実施
 - ・講師は琉大、沖女短等から招聘
 - ・調査研究の委託
 - ・公開保育、公開授業研究会の実施
 - ・先進事例、資料提供

沿革

★平成6年4月1日以前

- 平成3. 2.28 島尻市町村教育長会定例会において糸満市教育長より教育研究所設置の要請を受け、同会理事会で協議することを決議する。
- 平成4. 9.30 島尻市町村教育長会に設置構想案が提案され承認される。
 - 10. 2 南部振興会へ教育研究所の設置を要請する。
 - 10.30 南部市町村会総会に教育研究所の設置要請文が提案され、人材育成の事業推進から設置推進決議される。
- 平成5. 7.20 南部広域行政組合関係市町村長協議会で島尻教育研究所(仮称)設置構想が承認される。
南部市町村会総会にて島尻教育研究所設置を決定する(南部広域行政組合の共同事業の1つに加える)。
- 8.23 県教育長へ島尻教育研究所設置を報告するとともに、県教育庁の協力を要請する。
- 10.15 南部広域行政組合議会において島尻教育研究所設置構想を説明する
(一部事務組合の議会では共同事業の可否は議決できない。決めるのは構成市町村)。
- 12 南部広域行政組合関係市町村(20市町村)定例議会で島尻教育研究所の設置に関する、南部広域行政組合規約改正を行う。
- 平成6. 2. 3 島尻教育研究所の設置許可を県に申請。
- 2. 9 島尻教育研究所設置許可(平成6年4月1日設置)。

★平成6年4月1日以後

区分 年度	研究所 負担金 (千円)	補助金 負担金 (千円)	研究員数				所長	主任指導主事 (県教委派遣)	指導主事 (県教委派遣)	幼児教育担当 指導主事	指導員	備考
			幼	小	中	計						
H6	33,000		0	5	1	6	①②		野原廣子 上原幸得			H6 研究所開所(構成市町村14) 研究員後期から入所 所長(委託)
H7	39,151		4	8	2	14	宮城恒彦	糸満且男	賀数昌治	仲里充代		H8 適応指導教室「しのめ教室」開室 (島尻市町村教育長が事業主体)
H8	41,151	1,500 県1,500	4	11	2	17						H9 指導主事に主任指導主事を置く
H9	43,151	3,403 県1,500	2	12	2	16	比嘉恒雄	上原幸得	宮城末義	山内修子		H10 適応指導教室「しのめ教室」事業 主体を南部広域行政組合に移管(構成 市長村糸満市を除く13)
H10	43,151	3,403	2	13	1	16						③④
H11	43,151	3,403	2	11	3	16	⑤ 當山徳有	安谷屋守松	甲斐英児			H14 豊見城村市制施行
H12	41,151	3,403	1	9	2	12						H15 専任事務局長兼教育次長配置
H13	41,151	3,403	3	7	4	14	⑥ 喜名盛文	新垣千鶴子				H16 研究所創立10周年 長期研修修了者連携組織「東雲の会」発 足
H14	41,151	3,403	4	8	3	15						⑦
H15	41,151	3,403	4	7	4	15	⑧⑨	砂川芳之助	平田清美			H19 研修定数(小中)年間11人から10 人に減
H16	41,151	3,403	2	7	4	13						金城勲
H17	38,367	3,300	1	7	4	12	⑩⑪⑫	上江田敏博				H21 研修定数(小中)年間8人から6人に 減
H18	38,367	3,201	1	6	5	12						上原勝晴
H19	38,367	3,201	1	7	3	11	羽根田幸江	瑞慶覧長洋				H24 幼稚園の研修が6ヶ月に戻る。離島 幼稚園教諭研修始まる(2年)
H20	38,367	3,201	1	6	2	9						上原義仁
H21	38,367	3,201	1	3	3	7	⑬	佐久本広志	高良美奈子			H26 研修定数(小中)年間6人から8人に 増。幼児教育担当主事(臨時教諭)の配 置
H22	38,367	3,201	1	4	2	7						奥土晴夫
H23	38,367	3,201	8	5	1	14	⑭	高木眞治				H26 研究所創立20周年
H24	38,367	3,201	2	4	2	8						比嘉由美子
H25	38,367	3,201	5	3	3	11	大城朗					
H26	38,367	3,201	2	6	2	10						
H27	38,367	3,201	2	6	2	10						
H28	40,967	3,201	2	6	2	10						
H29	40,967	3,201	2	6	2	10						
H30	31,411	3,255	0	5	3	8						

H31,R1	29,613	3,267	1	6	2	9	⑮	高木眞治	神里美智子	大城美恵子	屋宜千登世	R2 所長、幼児担当主事を会計年度任用職員として配置 R5 南城市、適応指導教室共同事業から離脱(構成市町村7) R7 ・主任指導主事が所長を兼務 ・適応指導教室の名称変更 →こどもサポートルーム「しののめ」
R2	31,270	3,625	0	3	5	8	宮城末義					
R3	31,881	3,907	0	5	3	8	⑯	新垣誠				
R4	31,749	3,791	1	6	2	9	大城譲次		勢理客美和子	稲嶺彰子	島袋祥子	
R5	31,069	4,058	0	4	0	4						
R6	29,490	5,060	2	3	1	6	⑰ 神里一吉	末吉松祥		赤嶺優子	島袋祥子 大嶺園子	
R7	31,872	5,755	0	4	0	4	⑱末吉松祥			稲嶺彰子	島袋祥子 儀間奈央	
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
計			61	203	77	341						

※こどもサポートルーム事業は、組合同規約の規定に基づく共同事業ではなく、島尻教育研究所設置条例第3条3号(教育相談)の規定に基づく事業であるが、規約規定に準ずる扱いをしている(議会手続きと県知事許可を経ないところが通常の共同事業と異なる)。

1 目的と運営

(1) 島尻教育研究所設立趣旨

我が国は、明治以降欧米諸国に追いつくことを目指してきた。科学技術や経済の面で世界の最先端に至った今日、自らの手で豊かな社会における新しい文化を創造するために、創造性と個性を伸ばし、国際社会の発展のために積極的に貢献できる日本人を育成することが求められている。

今回、改訂された新学習指導要領は、これらの要請を踏まえ、社会の変化に主体的に対応し、心豊かでたくましく生きることができる資質や能力の育成を図ることを基本的なねらいとしている。いわゆる、これまでの知識や技能を共通的に身につけることを重視した教育から、子どもが自ら考え、主体的に判断し行動できる資質や能力を重視する教育へと、学校教育の基調を変えることが求められている。

さらにこのような、新しい方向を目指す学校教育において、最も大切なことは教師自身の意識の変革と教育活動の質的転換、そして日常の実践教育における指導力の向上である。

教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならないとされている。しかし現状として、管内教職員の研修意欲が旺盛であるにもかかわらず、毎年多数の研修希望者が県立教育センターに応募しているが、残念なことに、その需要を満たすことが出来ないのが実情である。

そこで、本来は各市町村で研究所を設けて対応するのが望ましいが、小規模市町村の多い本地区においては単独市町村で設置することは困難と思われ、苦慮している状況であった。幸いながら島尻には南部広域行政組合が組織されており、各市町村教育委員会の共同事業として位置づけることが最良と思われ、ここに、南部広域行政組合教育委員会の新規事業として島尻教育研究所を設立する。

(2) 目的

教育に関する調査、研究及び教育関係職員の研修を行い、資料提供並びに教育相談等の事業をとおして、島尻地区における教育研究の中核的存在とする。

(3) 運営方針

- ① 本地区の現状に即した教育研究を行い、その成果を教育関係者に提供する。
- ② 教育職員の研修の機会をつくり、教育実践上の問題を解明するよう援助する。
- ③ 教育研究のための資料を収集して、教育関係者に供するとともに、学校の調査研究の援助につとめる。
- ④ 各学校の教育活動や教育相談の援助につとめる。
- ⑤ 各教育団体との連携をはかる。

(4) 事業主体等

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| ① 事業主体（管理・運営） | 南部広域行政組合教育委員会 |
| ② 開設年月日 | 平成6年 4月1日 |
| ③ 第1期教育研究員入所日 | 平成6年 10月1日 |
| ④ 名称 | 南部広域行政組合島尻教育研究所 |
| ⑤ 位置 | 東風平町字東風平 965番地（南部総合福祉センター内） |

運営方針

国や県の動向を踏まえ、「研修事業(長期・短期等)」において、島尻地区の教育研究の中核的存在として、教職員の資質向上を図る。

研修については、幼児教育、保・幼・こ・小連携、SDGs、ICT利活用等、学校課題や教職員のニーズに応じた実践研究に対応する。

「調査・研究事業」においては、琉球大学、沖縄女子短期大学との連携の下、教育課題に対応した実践的研究等を実施し、その成果等について、関係教育機関ならびに教職員への啓発を行い、島尻地区の教育力の向上に資する取り組みに努める。

不登校の問題に対しては、こどもサポートルーム「しののめ」の運営充実に努め、学校や保護者、専門機関等との連携を深め、心理的要因や発達の課題等によって登校できない児童生徒の居場所をつくり、社会的自立に向けて支援していく。

南部広域行政組合教育委員会・島尻教育研究所所員

1 教育委員会

教育長	金城 郡浩 (南風原町教育委員会)
教育委員	赤嶺 美奈子 垣花 英正 金城 満

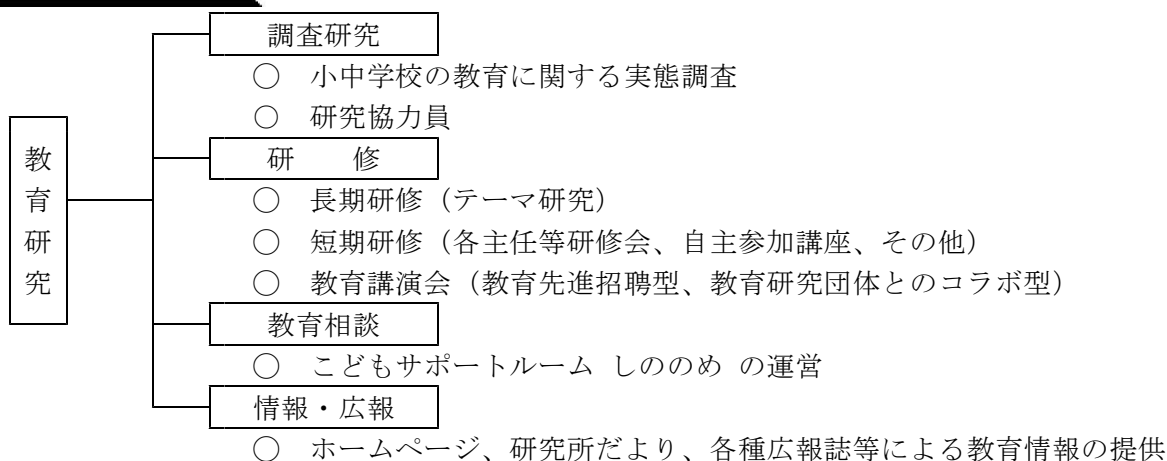
2 島尻教育研究所

所長(主任指導主事)	末吉 松祥
指導主事	勢理客 美和子
指導主事(幼児教育)	稲嶺 彰子

3 こどもサポートルーム「しののめ」

担当教諭	比嘉 孝子
支援員	島袋 祥子 儀間 奈央
臨床心理士	宮城 元子

事業の四本柱



事業概要

研修事業

1 長期研修(教育研究員、指導講師)

		教育研究員			指導講師		
前期	①	長嶺小学校	金城 一樹	I C T	名桜大学	立津 慶幸	上級准教授
	②	新城小学校	屋比久 咲	特別の教科道徳	東風平小学校	仲座 千恵子	教頭
後期	③	伊良波小学校	赤嶺 愛	図化工作	琉球大学	吉田 悦治	教授
	④	北丘小学校	儀間 盛顕	体育	琉球大学	松浦 稜	講師
1年		南星中学校	比嘉 孝子	教育相談	学識経験者	宮城元子	公認心理師

2 短期研修

- (1) 校内研修支援事業
 - 校内研修、園内研修支援（予算の範囲内で実施）
 - 授業研究相談（島尻教育研究所指導主事による授業づくり講話・相談業務）
- (2) 市町村教育委員会連携講座（幼児教育）
 - 基礎ステージ（年1回）
 - 充実ステージ（年1回）
 - 発展ステージ（年1回）
 - 園長研修会（年1回）
- (3) 離島出前講座（年2回程度）

3 教育講演会

4 自主参加講座（琉球大学、沖縄女子短期大学との連携事業）

- (1) 小・中学校
 - 保護者相談・対応
- (2) 幼児教育
 - わくわく実技講座（3回）

5 教育研究団体支援事業

- (1) 島尻地区教育研究団体連絡協議会（島教連）支援
- (2) 東雲の会（研究所修了者の会）※令和6年度開催予定

調査研究事業

- 1 各種データの整理・蓄積
- 2 教育先進地視察研修
- 3 蔵書一覧作成

情報・広報事業

- 1 ホームページの発信と更新
- 2 刊行物の発行（要覧、研究報告書、所報等）
- 3 広報活動（ポスター、チラシ作成と配布）
- 4 研修修了者等へのフォローアップ
- 5 書籍の貸し出し

教育相談事業

- 1 こどもサポートルーム しののめ の運営
- 2 域内教育支援センター等への支援等
 - (1) 域内教育支援センター合同体験学習
 - (2) 域内教育支援センター担当者連絡会（情報交換会）
 - (3) 沖縄県教育支援センター連絡協議会（沖適連）

その他

- 1 教育研究所運営委員会
- 2 全県指導主事等連絡協議会（県教育委員会、県立総合教育センターとの連携強化）
- 3 市町村指導主事等研修会（市町村教育委員会等との連携強化）
- 4 県内大学との連携協定（琉球大学、沖縄女子短期大学との連携強化）
- 5 JICA(国際協力機構)との連携（国際的な連携強化）

主な業務分掌

1 研究所の管理

事業名		主	副
研究所内の管理	1 運営委員会	所長	主事
	2 南部広域行政組合教育委員会	所長	主事
	3 南部広域行政組合担当課長会議	所長	主事
	4 南部広域行政組合理事会	所長	主事
	5 南部広域行政組合議会	所長	主事
	6 島尻教育事務所との連携	所長	主事
	7 管理者会	所長	
	8 要覧・沿革史・所報/研究報告書・便り	所長 / 主事	
	9 予算関係	所長	
	10 週報・月行事予定作成・調整	主事	
	11 所内・組合内の日程調整	主事	

2 関係機関との連携

事業名		主	副
関係機関との連携	1 沖縄県教育委員会 島尻教育事務所	所長	
	2 市町村教育委員会	所長	主事
	3 学校、園	所長	主事
	4 九教連・全教連	所長	
	5 沖縄県教育研究所連盟(九教連)	所長	
	6 沖縄県教育支援セ指導教室連盟	所長	担教
	7 市町村教育長会	所長	
	8 九州・全国研究所連盟研究会	所長	
	9 全県指導主事等連絡協議会	所長	
	10 校長研修会・校長会	所長	主事
	11 地区指導主事会	主事	
	12 域内支援教室連絡協議会	所長	担教
	13 JICA研究員との交流会	主事	

4 調査・研究事業

事業名		主	副
調査研究	1 各種データの整理・蓄積	所長	
	2 調査・研究協力員事業(委託)	所長	
	3 調査・研究協力園事業(委託)	所長	幼主事
	4 教育先進地域視察	所長	
	5 データの収集、分析、資料提供	所長	

5 情報・広報事業

事業名		主	副
情報事業	1 ホームページの発信と更新	所長	
	2 刊行物の発行	所長	主事
	3 書籍の管理・貸し出し	主事	
	4 修了者へのフォローアップ	主事	

3 研修事業

事業名		主	副	
研修事業	長期研修	1 定数調整	所長	
		2 研究員募集	所長	
		3 指導講師依頼	所長	
		4 研修計画	主事	
		5 入所前研修	主事	幼主事
		6 オリエンテーション	主事	幼主事
		7 入所式	主事	幼主事
		8 修了式	主事	幼主事
		9 退所セレモニー	主事	幼主事
		10 指導講師連絡会	主事	幼主事
		11 研修に関する指導助言	主事	幼主事
		12 研究に関する研修	主事	幼主事
		13 各種検討会、ヒアリング 指導講師検討会	主事	幼主事
	14 所内研修	主事	幼主事	
	15 所外研修	主事	幼主事	
	16 クラブ活動	主事	幼主事	
	17 検証保育・検証授業	主事	幼主事	
	18 研究報告会	主事	幼主事	
	19 研修日誌の作成	主事	幼主事	
	20 報告書等作成	主事	幼主事	
短期研修・幼その他	1 校内研修支援事業 園内研修支援事業	所長	幼主事	
		所長		
	2 琉球大学アドバイザー スタッフ派遣事業連携	所長		
	3 自主参加講座	主事	所長	
	4 教育講演会	所長	主事	
	5 研究主任等研修会	所長	主事	
	6 市町村教委連携講座	幼	主事	
	7 自主参加講座	幼	主事	
	8 離島出前講座	幼	主事	
	9 講師派遣・授業研究相談	各担当		
	10 教育研究団体等支援事業	主事	幼主事	
11 その他	各担当			

6 教育相談事業

事業名		主	副
教相	1 こどもサポートルーム しののめの運営	所長	

7 連携推進事業

事業名		主	副
他	1 県内大学と連携協定事業	所長	主事

週時程の基本

1 研究所の運営

	事業名	内容等	担当	
			主	副
研究所の運営	1 各部屋、廊下の扉・窓 ・小会議室 ・大会議室 ・局長 ・所長室 ・組合室 ・湯茶室 ・図書室	■ 8:30～8:45の清掃活動（月、火、金） 晴天時→屋外 雨天時→屋内 ※月曜日は室内	全員	
	2 環境整備	■ 駐車場花壇の花の植栽管理 ■ しののめの花の植栽管理	所長	主事 幼主事
毎週	1 週報作成と配布		主事	
	2 研究所日誌の記入	■ データで管理	所長	
	3 受入文書の押印	■ 所長 → 主事 → 幼主事 → 研究員	所長	
	4 起案文書の押印	■ 幼主事 → 主事 → (合義) → 所長 → 課長 → 次長 → 教育長	所長	
	5 出張、職免、休暇処理 ※(教育長)は出張のみ	■ 所員 本人 → 所長 → 次長 → (教育長) ■ 研究員 主事 → 所長 → 次長 → (教育長)	所長	
適宜	1 ミーティング ・大会議室 ・所長、主任、主事、 幼主事、研究員、 特別研修員 ・開催日は指導主事が調整	■ 3分間スピーチ、スピーチに基づく話し合い ※ ラウンドテーブルミーティング	主事	
	2 クラブ活動	■ 三線5回、琉舞5回	主事	
月	1 管理者会議（隔週） ・大会議室 ・局長、所長、総務課長、 施設課長（※豊、島尻、東部） 新炉室長、主事	■ 週行事の説明（所長） ■ 研究所事業の説明・報告 ※要項案を準備する ■ 協力・連携等の依頼	所長	
	2 調整会議 ・所長、主事、幼主事	■ 月行事、週行事の検討・確認 ■ 事業の反省 ■ 事業の起案前調整 ■ 情報交換 ■ 事業の実施前調整	主事	
	3 朝の会 ・研究室 ・主事、研究員	■ 週行事の説明（主事） ■ 行事の確認 ■ 情報交換 ■ 研究の進捗状況報告、意見交換	主事	幼主事
火	1 朝の清掃活動	■ ボランティア活動	所長 主事	幼主事
木	1 しののめスタッフ会議 （隔週） ・所長、主事、担当教諭、 臨床心理士	■ こどもサポートルーム「しののめ」事業の検討 ■ 登室児童生徒の状況 ■ 指導方針、方法等の検討 ■ 情報交換	所長 主事	担当 教諭 支援員
金	1 朝の清掃活動	■ ボランティア活動	所長 主事	幼主事

年間行事計画

4 月		5 月		6 月		7 月		
1	火	指令交付式 オリエンテーション 前期研究員入所・初顔合わせ 初顔合わせセミナー 新採用職員指令交付式	木	ヒアリング④(議論、授業情報) 教育相談① 中学英語STEP UP研 ※【所外研修① 図書館施設見学】	日	第51回地区中学校夏季体育大会② 指導員研修③④～8日(指導案) 教職2年目研修② 教職3年目研修② 司書教諭・図書館主任等研修会	火	教育相談① 教育相談員等研修会③(セ) 教職5年級教員研修③ 理科授業・実験指導に関する研究協議会(小A) 教育相談②
2	水	前期入所式 15:00～ 指導員研修①	金	教育相談②	月	クラブ(三歳)⑤ 教育相談① 発達障害研②(わがひ)	水	理科授業・実験指導に関する研究協議会(小B) 教育相談③
3	木	ヒアリング①(志願動機) 【所内講座① 研究の進め方】 【所内講座② 報告書の書き方】 初任者研修①(開講式)	土	憲法記念日	火	ヒアリング⑤(反省計画・授業情報)	木	授業力アップ研究会②(中外園園) 中学校教科主任研修会(外国園)
4	金	教育事務所訪問(M)	日	みどりの日	水	教育相談② 授業力アップ研究会①(算数) 幼児教育自主参加講座① 検証保育・授業の学校への説明 教育相談③ 授業力アップ研究会①(中外園園) ※琉球大学連携推進会議④M ※指導員研修②PM 共同学校事務室事務長・推進委員代表者会議①	金	幼児教育短期研修(充実ステージ) 小中連携合同研究会(算・数)
5	土		月	こどもの日	木		土	
6	日		火	憲法休日	金		日	
7	月	【所内講座③】学習指導要領 県立学校始業式、入学式	水	クラブ(三歳)スタート① 教育相談③	土		月	チャレンジ登校期間 中学校教科主任研(保健体育)
8	火	ヒアリング②(テーマ 設定理由) 「しのもの」開室 チャレンジ登校期間	木	【所内講座④】授業づくり・評価 沖教支セ担当者連絡会②(セ)	日		火	
9	水	【所内講座④】プレゼンの技法	金	教職2年目研修①(わがひ) 主幹教諭研修会	月	室内検討会 小学校体育主任研 共同学校事務室事務長会②	水	
10	木		土		火	沖教支セ担当者連絡会③(セ) 中学校教科主任研(家庭科)	木	ヒアリング①(検証・考察・まとめ) スタッフ会議 離島校訪問(黒国小中)～11日
11	金	※【所外研修①】組合園施設見学	日		水	授業力アップ研(小園) 所内検討会③(指導案) ※城内教支セ合同平和学習	金	城内合同教育教室
12	土		月	ミーティング開始 幼児教育短期研修(基礎ステージ) 地区定例職員研(事業説明)① ◎職員研修システム研修会①(教職研修会に含む)	木	学習指導案提出 ミーティング② 定例教諭研修会②	土	
13	日		火	指導員研修③④～16日(議論 授業情報) クラブ(三歳)② 教育相談員等研修会①(セ)	金		日	
14	月	指導員研修③④～16日(研究仮説まで) 市町村教育長研修会①	水		土		月	離島校訪問(鹿野間小中)
15	火	沖教支セ担当者連絡会①(セ)	木	授業力アップ研①(中学園園)	日	教員候補者選考試験第1次試験 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	火	沖教支セ担当者研修会② 教育相談員等研修会⑤(セ)
16	水		金	沖教支セ連絡協議会 幹事会・総会 市町村幼児教育担当者連絡協議会①【オンライン】	月	検証保育・授業期間(～7/4) 離島校訪問(阿嘉小中)	水	
17	木	所内研修「所長講話 I」 全国学力・学習状況調査(小6・中3)	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	火	教育相談員等研修会③(セ) 中学校教科主任研(音楽)	木	大市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会①【わがひ】 ※沖縄女子短期大学連携推進会議④
18	金	県指導主事等連絡協議会①	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	水	中学校教科主任研(技術)	金	第3金曜日「少年ま守る日」
19	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	月	室内検討会 【ICT】教育情報化推進講座(島尻) 定例校長研② クラブ(三歳)③	木	教職5年目研修②(わがひ)	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
20	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	火	中堅教諭等資質向上研②	金	※城内教支セ合同体育 【ICT】技術の情報化講座B 地域連携担当者等研修会	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
21	月	【しのもの】新規入室申請受付開始 ヒアリング③(研究仮説・検証計画)	水	地区市町村指導主事等研修会②	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	月	海の日 第62回県中学校総合体育大会(～26日) 指導員研修④～25日(検証考察まとめ)
22	火	第1回島尻教育DX推進員研修会 沖教支セ担当者連絡協議会PM	木	スタッフ会議 初任者研修③(学級経営等) 所内検討会②(議論、授業情報) ※城内教支セ教室合同体育	日	教員候補者選考試験第1次試験(予備日)	火	特支・通級教室担当研修研(～8/1) 特支二種免許法認定講習(～8/29) ※沖女短大学生との交流
23	水	室内検討会 特支教育コーディネーター養成研① 中堅教諭等資質向上研①(開講式)	金	指導主事研修等研修会①	月	懸賞の日	水	学校安全指導者養成講習会 第1回「しのもの」入室有定委員会 スタッフ会議
24	木	初任者研修②(教育相談等) 所内検討会①(テーマ・仮説・研究計画)	土		火	JICA研究員との交流会 14:00～	木	中高キャリア教育講座【島尻】
25	金	定例校長研①(事業説明)	日		水	※城内教支セ担当者連絡会② 【ICT】技術の情報化講座C 離島校訪問(鹿野間小中)	金	沖教支セ担当者研修会① 初任者研修⑤
26	土		月	【所内講座⑤】検証計画 9年間の学びを贈る小中キャリア充実事業① 教職5年級教員研修①(わがひ) クラブ(三歳)④	木	スタッフ会議 初任者研修④(わがひ)	土	管理職選考第1次試験
27	日		火	教職3年目研修① 【所内講座⑥】指導案作成・反省計画	金	【ICT】技術の情報化講座C 地区職業改善アドバイザー研(公開授業) 中学校教科主任研①(社会)	日	
28	月		水	授業力アップ研究会①(中教) ヒアリング⑥(指導案)	土		月	夏季ダンス実技研修会 幼児園の学びを生かした授業改善研修会(生活科)【わがひ】 幼児教育短期研修(充実ステージ)
29	火	昭和の日	木	発達障害研①	日		火	科学の甲子園ジュニア島尻地区代表選考会 「新たな教壇の学びの家」学習会【わがひ】
30	水	児童生徒支援関係職員合同研	金	地区事務職員研修会①	月	教務主任研修会	水	小中自主参加講座① 児童生徒支援加配教員連絡会② 校内自立支援支援員連絡会② 幼稚園小学校運動実技指導者講習会
31	木		土	第51回地区中学校夏季体育大会①			木	室内検討会 小学校体育実技指導者講習会 中堅教諭資質向上研④⑤

8 月		9 月		10 月		11 月	
1	金	小中自主参加講座② 沖縄県幼児教育合同研修会【オンライン】 初任者研修(本庁)オンデマンド 中堅教諭等資質向上研⑦②	教育相談① 教職3年目研修③	水	後期研究員入所・初履合わせ オリエンテーション 初履合わせセレモニー 後期入所式 15:00～ 指導講師連絡会①	土	
2	土	管理職選考1次(予備)	教育相談②	火	初任者研修④	日	
3	日		報告会リハーサル 教育相談③ 冲教支セ担当者連絡会④(セ)	水	教育事務局挨拶訪問 【所内講座① 研究の進め方】 【所内講座② 報告書の書き方】 小学校英語ステップアップ研修会①	月	文化の日
4	月	リフレッシュ・ウィーク(～8/8)	旧盆(ウンケー)	木		火	遠隔クラブ① ヒアリング④(理論、授業構想) 令和8年度長期研究員募集開始 教育相談① 沖縄県学力向上推進フォーラム【オンデマンド】 【所内講座⑤ 授業づくり・評価】 冲教支センタースポーツ交流会 教育相談②
5	火			金		水	
6	水	学校開庁日(～8/8)	旧盆(ウーケイ)	土		木	教育相談③ 沖縄県保幼小繋げ欄期のカリキュラム検討会議② 県小・中学校長研究大会(那覇大会)
7	木			日		火	【所内講座③ 学習指導要領】 ヒアリング②(テーマ・設定理由) 冲教支セ担当者連絡会⑤(セ)
8	金		児童会・生徒会担当者研修会	月		水	県小・中学校長研究大会(那覇大会)
9	土	教員候補者選考試験第2次試験		火		木	ヒアリング⑤(仮説・検証計画)
10	日	教員候補者選考試験第2次試験		水		金	※【所外研修① 図書館遠征見学】 指導講師検討会②～14日(理論、授業構想)
11	月	山の日	共同学校事務室委員長会③ 修了式リハーサル スタッフ会議	木		土	小学校英語ステップアップ研修会② 遠隔クラブ② 冲教支セ担当者連絡会⑤(セ) 授業力アップ研究会②(中堅) 中学校教科主任研修会(数学)
12	火	所内検討会④(検証・考察・まとめ構想) スクールカウンセラー等連絡協議会② 児童生徒支援加配教員等連絡会③ ヒアリング⑥(まとめ・プレゼン)	前期報告会 前期修了式 道徳教育パワーアップ研究協議会 ※茨城いきいきキャンプ～8日	金		日	
13	水	体づくり体育指導改善講習会	管理職候補選考試験2次試験	土		月	スポーツの日 スタッフ会議 県到達度調査(小)～12/11 県公立小中学校教員大会(中堅)
14	木	沖縄県保幼小繋げ欄期のカリキュラム検討会議① 第2回冲教支セ担当者研修会(宜野浦)		日		火	幼児教育自主参加講座② 県到達度調査(中)～12/12 県公立小中学校教員大会(中堅)
15	金	第3金曜日「少年を守る日」	教老の日	月	定期校長研修会③・人事異動説明会 【所内講座④ プレゼンの技法】 指導講師検討会①～21日(研究仮説まで)	水	県中学校駅伝大会(那覇・久米島) 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
16	土	教員候補者選考試験第2次試験(予備日) 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	所内研修「所長講話Ⅱ」 中学校教科主任研修会(美術)	火		木	スタッフ会議 冲教支セ担当者連絡協議会講演会 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
17	日	教員候補者選考試験第2次試験(予備日) 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」		水		金	第3金曜日「少年を守る日」 室内検討会
18	月	指導講師検討会⑤～22日(まとめ・プレゼン) 教育講演会(国研:藤原文彦氏) 中堅教諭等資質向上研修⑧④ 鳥居地区事務職員研修会②	研究報告書ホームページアップ原稿提出 ※職業人講話①	木		土	遠隔クラブ③ ※子どもの読書活動推進フォーラム 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
19	火	初任者研修(教育センター)	所外研修③(学校施設等見学)	金		日	※子どもの読書活動推進フォーラム 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
20	水		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土		月	授業改善アドバイザー研修会(公開授業)② 授業力アップ研究会②(小園)
21	木	★市町村幼児教育担当者連絡協議会②【オンライン】 初任者研修④		日		火	室内検討会②(理論、授業構想) 地区小学校音楽発表会 第3金曜日「少年を守る日」
22	金	市町村教育長研修会②		月		水	理科観察・実践指導に関する研究協議会(中B)
23	土		秋分の日	火		木	勤労感謝の日
24	日			水	後期研究員入所前研修会 研究報告書ホームページアップ 地区園長等運営管理協議会(わらび)	金	中学校教科主任研修会②(社会) 所内検討会①(テーマ・仮説・研究計画) ※域内教支セ合同体育 地区市町村指導主事等研修会⑤
25	月	チャレンジ登校期間～9月5日	スタッフ会議 初任者研修⑦(わらび)	木		土	【所内講座⑥ 検証計画】 遠隔クラブ④ 児童生徒支援加配教員連絡会④ 校内自立支援者支援員連絡会③
26	火	室内検討会	退所セレモニー ※域内教支セ合同体育	金		日	授業力アップ研②(算数)
27	水	幼児教育短期研修(指導ステージ)【園長】		土		月	ミーティング開始 県立中学校入学願書受付(～10/31) 【所内研修 所長講話Ⅰ】
28	木	所内検討会(プレゼン) 第2回鳥居教育DX推進員研修会		日		火	地区幼児教育研究協議会 地区中学校音楽発表会
29	金	報告書・所報原稿入稿(最終原稿)		月	所外研修④(組合園遠征見学)	水	第51回地区中学校新人総合体育大会(～2/1)
30	土		前期研究員退所	火		木	スタッフ会議 中学校教科主任研(園部) 授業力アップ研②(中学園部)
31	日			水		金	県立中学校入学希望届出願締切

12月		1月		2月		3月	
1月	指導講師検討会③(～5日)(指導案)ヒアリング⑥(改善計画・模擬授業)	木	元日	日		日	
2火	中学校英語STEP UP研修会② 読書クラブ⑥	金		月	先遣校視察研修(1～2月で調整)	月	県立高校卒業式
3水	教育相談①	土		火	県立高校履書受付①	火	教育相談②
4木	沖教支セ連絡会⑦(セ) 沖教支セ体験活動交流会 教育相談②	日		水	教育相談① 県立高校履書受付②	水	教育相談①
5金	指導講師連絡会② 教育相談③ 授業力アップ研②(小算数) 幼児教育自主参加講座③	月	検証保育・授業～23日 仕事始め式 チャレンジ登校期間 教育相談①	木	教育相談② 室内検討会 スタッフ会議 教育相談③ 県健康教育研究大会	木	教育相談② 県立高選抜学力検査1日目 スタッフ会議 教育相談④ 県立高選抜学力検査2日目 報告会リハーサル
6土	第31回沖縄県中学校総合文化祭 県立中学校入学選抜適性検査	火	教育相談②	金	※合同体育(予備) 県立高校志願変更申し出①	金	
7日		水	教育相談③ 県立中学校入学決定通知期限	土		土	
8月	室内検討会	木	県立高校併設型入学希望届提出期限 長期研究員募集締切	日		日	
9火		金	県立高校併設型入学結果通知期限	月	定例教頭研修会③(わいわい) 県立高校志願変更申し出②	月	県立学校入学選抜学力検査適性検査
10水	チャレンジ登校期間 ※域内教支セ合同工作教室	土		火	所内検討会④(検証・考察・まとめ構想)	火	
11木	スタッフ会議	日		水	進路記念日	水	
12金	所内検討会③(指導案)	月	成人の日	木	沖教支セ担当連絡会⑧(セ) 中堅教諭等資質向上研⑩(わいわい) ヒアリング⑤(まとめ・プレゼン) 令和8年度長期研究員選考委員会	木	修了式リハーサル チャレンジ登校期間 後期報告会・後期修了式
13土		火	沖教支セ担当連絡会⑧(セ)	金		金	
14日		水	第3回島尻教育DX推進員研修会	土		土	
15月		木		日		日	
16火		金	沖縄県指導主事等連絡協議会② 第3金曜日「少年を守る日」	月	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	月	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
17水	学習指導案提出・学校への説明	土	大学入学共通テスト① 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	火	県立高校履書取り下げ・再出願① 所外研修②【学校施設等見学】	火	所内研修「所長講話Ⅱ」 沖教支セ担当連絡会⑧(セ) 県立学校合格発表
18木		日	大学入学共通テスト② 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	水	県立高校履書取り下げ・再出願② 指導講師検討会⑤～20日(まとめ・プレゼン) 児童生徒支援加配教員連絡会⑤ 校内自立支援推進員連絡会④	水	県立学校2次募集履書受付①
19金	※年末清掃 沖縄県幼小中連携カリキュラム検討会③ 第3金曜日「少年を守る日」	月	市町村教育長研修会③ 地区市町村指導主事等研④	木	スタッフ会議	木	スタッフ会議 県立学校2次募集履書受付② 県立学校修了式
20土	県立中学入学選抜検査(追検査) 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	火		金	琉球大学連携推進会議② 県立高校連携型入学選抜書提出期限 第3金曜日「少年を守る日」	金	春分の日 第3金曜日「少年を守る日」
21日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	水	※所外研修⑤(沖女短生との交流)	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
22月	9年間の学びを贈ぐ小中キャリア充実事業②【わいわい】	木	ヒアリング⑦(検証・考察・まとめ)～25日 スタッフ会議 初任者研修⑩	日		日	
23火		金	県立中学校入学選抜書提出	月	天皇誕生日	月	県立高校2次募集志願書再出願
24水		土		火	室内検討会 中堅教諭等資質向上研⑩	火	
25木	スタッフ会議	日		水		水	令和8年度前期研究員入所前研修会 研究報告会ホームページアップ 退所セレモニー 島尻地区事務職員研修会⑤
26金	仕事納め式	月	指導講師検討会④～30日(検証・考察・まとめ)	木	しのめ感謝祭 初任者研修⑩(教育講演・閉講式) 所内検討会⑤(まとめ・プレゼン) ※沖縄女子短期大学連携推進会議②	木	
27土	年末年始休(～1月4日)	火	幼稚園・認定こども園2年目研 教職2年目研修③(研究発表会)	金		金	県立高校2次募集合格発表
28日		水		土		土	
29月		木	市町村幼児教育担当者連絡協議会③	日		日	
30火		金	定例校長研修会④	月		月	
31水		土		火		火	後期教育研究員選所 退職者給金交付式

関係例規

南部広域行政組合島尻教育研究所設置条例

平成6年3月8日
条例第6号

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定に基づき、教育に関する調査、研究及び教育関係職員の研修を行うため、南部広域行政組合島尻教育研究所(以下「研究所」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 研究所の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	南部広域行政組合島尻教育研究所
位置	島尻郡八重瀬町字東風平965番地

(事業)

第3条 研究所は、第1条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 教育に関する専門的及び技術的事項の調査研究に関すること。
- (2) 教育関係職員の研修に関すること。
- (3) 研究成果の普及及び教育相談に関すること。
- (4) 教育関係資料の収集及び活用に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、南部広域行政組合教育委員会が必要と認める事業に関すること。

(職員)

第4条 研究所に必要な職員を置く。

(委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、研究所の組織及び運営その他必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則 この条例は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成18年条例第2号) この条例は、平成18年4月1日から施行する。

南部広域行政組合島尻教育研究所設置条例施行規則

平成14年3月1日
教委規則第4号

南部広域行政組合島尻教育研究所設置条例施行規則(平成6年南部広域行政組合教育委員会規則第1号)の全部を改正する。

(趣旨)

第1条 この規則は、南部広域行政組合島尻教育研究所設置条例(平成6年南部広域行政組合条例第6号。以下「条例」という。)第5条の規定に基づき、南部広域行政組合島尻教育研究所(以下「研究所」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(職員)

第2条 研究所に、次の各号に掲げる職員を置くことができる。

- (1) 所長
- (2) 主任指導主事
- (3) 指導主事
- (4) 教育相談員
- (5) 前各号に掲げる職員のほか、必要な職員

(職務)

第3条 所長は、上司の命を受け、所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 主任指導主事は、上司の命を受け、研究所の企画運営及び指導業務を掌理するとともに、所長が不在(所長が出張、病気その他の理由又は欠けたことにより決裁又は決定することができない状態をいう。)のときは、その職務を代理する。

3 指導主事は、上司の命を受け、研究所の企画運営及び指導業務に従事する。

4 教育相談員は、上司の命を受け、研究所の専門的相談業務に従事する。

5 必要な職員は、上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(所長の専決事項)

第4条 所長が専決できる事項は、次のとおりとする。ただし、所長の県外出張については、この限りでない。

- (1) 常例に属する公表、認定、証明、報告、申請、照会及び回答に関すること。
- (2) 研究所に関係する機関及び団体間の常例的連絡調整に関すること。
- (3) 関係市町村の学校その他の教育機関に対し、研究所運営上必要とする調査資料等の提出の依頼に関すること。
- (4) 研究所の施設及び備品の使用許可に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、軽易な事項に関すること。

(報告)

第5条 所長は、研究所の業務について、常例又は随時に教育長及び教育次長に報告しなければならない。

(教育研究員)

第6条 研究所に、教育に関する調査研究のため、教育研究員(以下「研究員」という。)を入所させることができる。

- 2 研究員は、教育職員のうちから教育長が選考し、決定する。
- 3 研究員の入所期間は、1年以内とする。ただし、渡嘉敷村、座間味村、粟国村及び渡名喜村の幼稚園及び幼保連携型認定こども園については、2年以内とする。

(修了証書)

第7条 研究所において所定の研究を修了した者に対し、修了証書(別記様式)を授与する。

(研究協力員)

第8条 研究所の事業を推進するため、必要に応じ研究協力員(以下「協力員」という。)を置くことができる。

- 2 協力員は、教育職員のうちから教育長が委嘱する。
- 3 協力員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。

(指導講師)

第9条 研究員及び協力員の研究活動に指導及び助言を与えるため、必要に応じ指導講師を置くことができる。

- 2 指導講師は、教育長が委嘱する。
- 3 指導講師の任期は、研究員の指導講師にあつては1年以内、協力員の指導講師にあつては2年以内とする。
- 4 指導講師は、再任されることができる。

(その他)

第10条 この規則に定めるもののほか、研究所の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の南部広域行政組合島尻教育研究所設置条例施行規則の規定に基づいて行われた手続等は、この規則の規定に基づいて行われたものとみなす。

附 則(平成19年教委規則第1号) この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年教委規則第1号) この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成24年教委規則第2号) この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成28年教委規則第1号) この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(令和2年教委規則第2号) この規則は、令和2年4月1日から施行する。

別記様式(第7条関係)

別記様式(第7条関係)

第 号	所 長 (氏 名) 印	南 部 広 域 行 政 組 合 島 尻 教 育 研 究 所	年 月 日	修 了 し た こ と を 証 す る	頭 書 の テ ー マ で 研 究 を	本 教 育 研 究 所 に 於 い て	(氏 名) (研究テーマ)	修 了 証 書
--------	---------------------------------	---	-------------	--	--	--	-------------------------	------------------

南部広域行政組合島尻教育研究所教育研究員に関する規程

平成14年3月1日
教委訓令第3号

(趣旨)

第1条 この規程は、南部広域行政組合島尻教育研究所設置条例施行規則(平成14年南部広域行政組合教育委員会規則第4号)第10条の規定に基づき、南部広域行政組合島尻教育研究所(以下「研究所」という。)の教育研究員(以下「研究員」という。)について必要な事項を定めるものとする。

(応募資格)

第2条 研究員の応募資格は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 研究員は、島尻教育事務所管内の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校又は中学校(以下「学校等」という。)の教育職員で教職経験3年以上経過したものであること。
- (2) 県内外の研究機関における長期研修修了後3年以上経過した者であることを原則とすること。

(応募方法)

第3条 研究員に応募する者は、教育研究員申込書、希望研究テーマ、所属長の推薦書を添えて、当該教育職員が所属する市町村教育委員会を経て南部広域行政組合教育委員会に提出するものとする。

(研究方法及び報告)

第4条 研究員は、研究所の研究計画のもとに学校等及び個人の課題に基づき、研究テーマを設定して研究するものとする。

2 研究員は、それぞれの研究の修了日までにその研究経過及び研究結果を報告書にまとめ、所長に提出するとともに、研究発表を行うものとする。

(経費)

第5条 研究員の研究に必要な経費は、予算の範囲内で支出し、それを超える経費については研究員の負担とする。

(服務)

第6条 研究員の服務は、それぞれの研究員が所属する学校等の職員服務規程を準用する。

附 則

1 この訓令は、平成14年4月1日から施行する。

2 島尻教育研究所教育研究員に関する要項(平成6所長訓令第1号)は、廃止する。

3 この訓令の施行前に島尻教育研究所教育研究員に関する要項の規定に基づいて行われた手続等は、この訓令の規定に基づいて行われたものとみなす。

附 則(平成16年教委訓令第1号) この訓令は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成28年教委訓令第1号)

南部広域行政組合島尻教育研究所運営委員会規則

平成14年3月1日
教委規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、南部広域行政組合の附属機関の設置に関する条例(平成14年南部広域行政組合同条第7号)第3条の規定に基づき、南部広域行政組合島尻教育研究所運営委員会(以下「運営委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 運営委員会は、所長の諮問に応じ、次の事項について審議し、答申する。

(1) 島尻教育研究所(以下「研究所」という。)の管理運営に関する事項

(2) その他所長の諮問事項

(組織)

第3条 運営委員会は、10人以内の委員で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

(1) 学識経験者 (2) 教育職員 (3) 前2号に掲げる者のほか、教育長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 運営委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、運営委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 運営委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集する。

2 運営委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは委員長がこれを決する。

4 委員長は、運営委員会において必要があると認めるとき、関係者の出席を求め、必要な資料を提出させ、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 運営委員会の庶務は、研究所において処理する。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、運営委員会に関し必要な事項は、委員長が運営委員会に諮って定める。

附 則

1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。

2 南部広域行政組合島尻教育研究所運営委員会設置要項は、廃止する。

3 この規則の施行前に南部広域行政組合島尻教育研究所運営委員会設置要項の規定に基づいて行われた手続等は、この規則の規定に基づいて行われたものとみなす。

附 則(平成18年教委規則第3号) この規則は、平成18年4月1日から施行する。

南部広域行政組合島尻教育研究所における不登校児童・生徒のこどもサポートルームの設置及び運営に関する規則

平成10年4月1日
教委規則第1号

(趣旨)

第1条 この規則は、南部広域行政組合島尻教育研究所設置条例(平成6年南部広域行政組合条例第6号)第5条の規定に基づき、同条例第3条第3号の事業に関し、不登校児童・生徒の社会的自立を促進するため設置することもサポートルーム(以下「ルーム」という。)について、必要な事項を定めるものとする。

(教室の名称及び位置)

第2条 ルームの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	しのめ
位置	島尻郡八重瀬町字東風平965番地

(支援対象)

第3条 支援の対象となる者は、心理的要因等によって登校できない南部広域行政組合教育委員会管内(南部広域行政組合負担金条例(平成26年南部広域組合条例第1号)別表第6項に規定された市町村。以下「管内教育委員会」という。)の小・中学校在籍の児童・生徒で、第9条第1項の規定により教室における指導が望ましいと判定されたものとする。

(開室日)

第4条 開室日は、公立小・中学校の授業日に準ずる。

2 南部広域行政組合島尻教育研究所長(以下「研究所長」という。)が特に必要と認めた場合、あらかじめ南部広域行政組合教育委員会(以下「教育委員会」という。)の承認を得て、前項に規定する授業日以外の日を授業日とすることができる。

(指導方針、指導計画等の作成及び公表)

第5条 研究所長は、教室の指導方針、指導計画等を作成し、教育委員会の承認を得て、管内教育委員会に公表しなければならない。

第6条 教室に担当教諭のほか、必要に応じ支援員を置くことができる。

2 担当教諭は、沖縄県教育委員会からの派遣教諭をもって充てるものとする。

3 支援員は、教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が適当と認めた者をもって充てるものとする。

(指導者の職務)

第7条 担当教諭は、上司の命を受け、教室の運営及び児童・生徒の支援に当たる。

2 支援員は、上司の命を受け、担当教諭を補佐する。

(こどもサポートルーム協力者会議)

第8条 ルームの運営及び児童・生徒への支援に当たり、助言を得るため、こどもサポートルーム協力者会議(以下「協力者会議」という。)を置く。

2 協力者会議は、10人以内の委員(以下「協力員」という。)で組織し、次に掲げる者の内から教育長が委嘱する。

(1) 学識経験者 (2) 学校関係者 (3) 教育行政関係職員 (4) 管内教育委員会の教育相談員

3 協力員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠協力員の任期は、前任者の残任期間とする。

(入室判定委員会)

第9条 教育委員会に入室判定委員会を置き、児童・生徒の教室への入室判定を行う。

2 入室判定委員会は、研究所長、指導主事、担当教諭のほか、前条第2項第3号に規定する教育長が委嘱した教育行政関係職員及び精神科医師又は臨床心理士等で組織する。

3 第1項の規定により、入室を判定された者は、教育委員会がその者の属する管内教育委員会及び当該学校長に通知する。

(その他)

第10条 ルームの運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成13年教委規則第4号)

この規則は、公布の日から施行し、改正後の南部広域行政組合島尻教育研究所における不登校児童生徒のこどもサポートルームの設置及び運営に関する規則の規定は、平成13年4月1日から適用する。

附 則(平成14年教委規則第7号) この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第1号) この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第4号) この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成24年教委規則第1号) この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(令和5年教委規則第1号) この規則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則(令和7年教委規則第1号) この規則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則(令和7年教委規則第2号) この規則は、令和7年4月1日から施行する。

長期研修員募集要項

令和7年度教育研究員 募集要項（幼稚園・こども園）

1 事業目的

公立幼稚園・こども園における今日的教育課題を解決していくために、幼児教育に関する理論研究と実践力の向上及び教育職員としての教養の深化を図り、使命感を持った人材を育成して島尻教育の活性化と発展に資する。

2 応募資格

- 南部広域行政組合教育委員会域内の公立幼稚園・公立認定こども園の教育職員（幼稚園教諭・こども園保育教諭）で、公立保育所勤務も含めて経験3年以上経過していること。
- 原則として県内外の研修機関における長期研修修了後3年以上経過していること。
- 中堅教諭等資質向上研修の対象者、教員免許状更新講習の対象者を除く。
- 沖縄県立総合教育センターの長期研修応募との併願は、原則として認めない。
- 本教育研究所が計画する研修（宿泊研修を含む）を受講することができること。
- 教育研究員の派遣に係る代替教員等の加配については、派遣元が負担すること。

3 研究期間

前期	令和7年 4月1日 ～ 令和7年 9月30日（6ヶ月）
後期	令和7年 10月1日 ～ 令和8年 3月31日（6ヶ月）

4 研究内容

幼稚園・こども園における今日的教育課題を踏まえ、理論研究及び実践研究を行い、その具体的な成果を広く現場に還元できる内容とする。また、研究内容は報告書にまとめる。

- 研究領域 幼稚園教育要領、こども園教育・保育要領を踏まえた研究とする。教育課程内の領域とする。
- 研究テーマ 研究テーマは、島尻教育研究所指定テーマから選択するか、または、応募者が設定する任意のテーマとする。

島尻教育研究所指定テーマ	教育課題に関する理論研究及び実践研究
応募者が設定する任意テーマ	幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領が求める保育

3) 島尻教育研究所指定テーマ

指定テーマ番号	対象	指定テーマ	指定テーマの内容
①	教諭	保幼小連携	保幼小連携の指導の充実と体制づくり

- 検証保育 実践研究のための検証保育を所属園において実施する。
- 研究員の指導
 - 研究の進め方、内容等については、島尻教育研究所指導主事を中心に指導する。
 - 域内の幼稚園・こども園園長、教頭（主任）、連携大学教員、学識経験者等を指導講師に委嘱し、研究テーマに関わる指導を依頼する。

5 募集人員（予定）

前期	幼稚園教諭・こども園保育教諭 1名 程度
後期	幼稚園教諭・こども園保育教諭 1名 程度

6 応募方法

- 応募者は、応募書類（様式1、2）を園長に提出する。
- 園長は、応募書類（様式1、2）に推薦書（様式3）を添え、厳封して設置自治体の主管課長（教育委員会教育長または福祉部局長）に提出する。
 - 様式1：教育研究員申込書 ● 様式2：希望研究テーマ ● 様式3：推薦書
 ※ 様式1～3は、島尻教育研究所のホームページからダウンロード可
- 教育委員会は、応募書類を確認の上、教育研究所所長宛に様式1・様式2・様式3を提出する。福祉部局長は、応募書類を確認の上、教育委員会を通して教育研究所所長宛に様式1・様式2・様式3を提出する。

7 応募書類の提出方法・期日

- 幼稚園から市町村教育委員会へ提出は、令和6年12月27日（金）までとする。認定こども園から市町村福祉部局へは、令和6年12月20日（金）までとし、福祉部局は、令和6年12月27日（金）までに市町村教育委員会に提出する。
- 市町村教育委員会は福祉部局からの応募も取りまとめ、島尻教育研究所へ、令和7年1月10日（金）までに提出する。

8 教育研究員の決定通知

決定通知を島尻教育研究所長から各市町村教育委員会、福祉部局に通知する。（令和7年3月上旬予定）

令和7年度教育研究員 募集要項（公立小・中学校）

1 事業目的

小・中学校における今日的教育課題を解決していくために、各教科・領域等並びに教育課題に関する理論研究及び実践研究を行い、実践力の向上や教育職員としての教養の深化を図り、使命感を持った人材を育成して島尻教育の活性化と発展に資する。

2 応募資格

- 南部広域行政組合教育委員会域内の小学校・中学校の教育職員（教諭、養護教諭、栄養教諭）で、教職経験3年以上経過していること。
- 原則として県内外の研修機関における長期研修修了後3年以上経過していること。
- 中堅教諭等資質向上研修の対象者、教員免許状更新講習の対象者を除く。また、原則として教職5年経験者研修の対象者も除く。
- 沖縄県立総合教育センターの長期研修応募との併願は、原則として認めない。

3 研究期間

前期	令和7年 4月1日 ～ 令和7年 9月30日（6ヶ月）
後期	令和7年 10月1日 ～ 令和8年 3月31日（6ヶ月）

4 研究内容

教科・領域等において、今日的教育課題を踏まえ、理論研究及び実践研究を行い、その具体的な成果を広く学校現場に還元できる内容とする。研究テーマに沿って仮説検証型あるいは実践研究型の研究を行い、検証授業を行うとともに、本教育研究所が計画する研修（宿泊研修含む）を受講する。研究内容は報告書にまとめる。

- 研究領域 学習指導要領を踏まえた研究とする。教育課程内の教科・領域、教育課題とする。
- 研究テーマ 研究テーマは、島尻教育研究所指定テーマから選択するか、または、応募者が設定する任意のテーマとする

島尻教育研究所指定テーマ	小・中学校の教育課題に関する理論研究及び実践研
応募者が設定する任意テーマ	小・中学校の各教科、領域等並びに教育課題に関する理論研究及び実践研究

3) 島尻教育研究所指定テーマ

指定テーマ番号	対象	指定テーマ	指定テーマの内容
①		SDGS	SDGSの理念に基づく学校づくり・授業づくり

②	教 諭	I C T	コンピュータ等や情報通信ネットワークなどを適切に利用した学習活動
③		保幼小連携	保幼小連携の指導の充実と体制づくり
④		特別支援教育	子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を確認して伸ばし、学習や生活に適切な指導や支援を行う
⑤		養護教諭	健康相談
⑥	栄養教諭	食に関する指導	望ましい食習慣や食生活を形成する指導の充実と栄養教諭の役割と連携

(4) 検証授業 原則として、仮説検証、実践研究のための検証授業を、所属校において実施する。

(5) 研究員の指導

① 研究の進め方、内容等については、島尻教育研究所指導主事を中心に指導する。

② 域内の校長、教頭、連携大学の教員、学識経験者等を指導講師に委嘱し、研究テーマに関わる指導を依頼する。

5 募集人員（予定）

前 期	小・中学校 4名 程度
後 期	小・中学校 4名 程度

6 応募方法

(1) 応募者は、応募書類（様式1、2）を校長に提出する。

(2) 校長は応募書類（様式1、2）に、推薦書（様式3）を添え、厳封して教育委員会教育長に提出する。

● 様式1：教育研究員申込書 ● 様式2：希望研究テーマ ● 様式3：推薦書

※ 様式1～3は、島尻教育研究所のホームページからダウンロード可

(3) 教育委員会は、応募書類を確認の上、教育研究所所長宛に様式1・様式2・様式3を提出する。

7 応募書類の提出方法・期日

(1) 学校から市町村教育委員会へは、**令和6年12月27日（金）**までとする。

(2) 市町村教育委員会から島尻教育研究所へは、**令和7年1月10日（金）**までとする。

8 教育研究員の決定通知

沖縄県教育委員会の研究員定数通知を受けて、令和6年度の教育研究員の決定通知を島尻教育研究所長から各市町村教育委員会並びに所属長宛に通知する。

（令和6年3月上旬予定）

令和7年度教育研究員 募集要項（離島幼稚園教諭・こども園保育教諭）

1 事業目的

島尻教育研究所域内の離島公立幼稚園教諭・こども園保育教諭に対し、当該幼稚園・こども園に勤務しながら長期（1年間）研修を実施し、幼児教育に関する理論研究と実践力の向上等、教職員の資質向上を図る。

2 応募資格

(1) 南部広域行政組合教育委員会域内の離島公立幼稚園・公立認定こども園の教育職員（幼稚園教諭・こども園保育教諭）で、保育所勤務も含めて経験3年以上経過していること。

(2) 原則として県内外の研修機関における長期研修修了後3年以上経過していること。

(3) 中堅教諭等資質向上研修の対象者、教員免許状更新講習の対象者を除く。

(4) 沖縄県立総合教育センターの長期研修応募との併願は、原則として認めない。

(5) 本教育研究所が計画する研修（宿泊研修を含む）を受講することができること。

3 研究期間

1年	令和7年4月1日～令和8年3月31日（1年）
----	------------------------

4 研究内容

幼稚園・こども園における今日の教育課題を踏まえ、理論研究及び実践研究を行い、その具体的な成果を広く現場に還元できる内容とする。また、研究内容は報告書にまとめる。

(1) 研究領域 幼稚園教育要領、こども園教育・保育要領を踏まえた研究とする。教育課程内の領域とする。

(2) 研究テーマ 研究テーマは、島尻教育研究所指定テーマから選択するか、または、応募者が設定する任意のテーマとする。

島尻教育研究所指定テーマ	教育課題に関する理論研究及び実践研究
応募者が設定する任意テーマ	幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領が求める保育

(4) 島尻教育研究所指定テーマ

指定テーマ番号	対 象	指定テーマ	指定テーマの内容
①	教 諭	保幼小連携	保幼小連携の指導の充実と体制づくり

(5) 検証保育 原則として、実践研究のための検証保育を、所属園において計画的に実施する。

(6) 研究員の指導 ① 研究の進め方、内容等については、島尻教育研究所指導主事を中心に指導する。

② 域内の幼稚園園長、教頭（主任）、連携大学教員、学識経験者等を指導講師に委嘱し、研究テーマに関わる指導を依頼する。

5 募集人員 1名（予定）

6 応募方法

(1) 応募者は、応募書類（様式1、2）を園長に提出する。

(2) 園長は、応募書類（様式1、2）に推薦書（様式3）を添え、厳封して設置自治体の主管課長（教育委員会教育長または福祉部局長）に提出する。

● 様式1：教育研究員申込書 ● 様式2：希望研究テーマ ● 様式3：推薦書 ※ 様式1～3は、島尻教育研究所のホームページからダウンロード可

(3) 教育委員会は、応募書類を確認の上、教育研究所所長宛に様式1・様式2・様式3を提出する。

福祉部局は、応募書類を確認の上、教育委員会を通して教育研究所所長宛に様式1・様式2・様式3を提出する。

7 応募書類の提出方法・期日

(1) 幼稚園から市町村教育委員会へ提出は、**令和6年12月27日（金）**までとする。

認定こども園から市町村福祉部局へは、**令和6年12月20日（金）**までとし、福祉部局は、**令和6年12月27日（金）**までに市町村 教育委員会に提出する。

(2) 市町村教育委員会は福祉部局からの応募も取りまとめ、島尻教育研究所へ、**令和7年1月10日（金）**までに提出する。

8 教育研究員の決定通知

決定通知を島尻教育研究所長から各市町村教育委員会、福祉部局に通知する。**（令和6年3月上旬予定）**

9 研修について

(1) 研修の実際

① 研究員は、所属幼稚園・こども園に勤務しながら、長期（1年）にわたり研修を行い、前期・後期研究員と同様に研究を行う。

② 研究員は、各自の研修テーマについて、指導主事の指導助言及び指導講師との緊密な連携のもとに、自発的・自主的に研修を行う。

③ 研究員は、当研究所が計画する研究所での研修や講座を受講する。

④ 検証保育については、指導講師を所属幼稚園に派遣し、助言を受ける。また、必要に応じて、指導講を派遣する。

⑤ 研究員は、研究成果を報告書にまとめ、研究所の計画する報告会において、口頭で発表する。

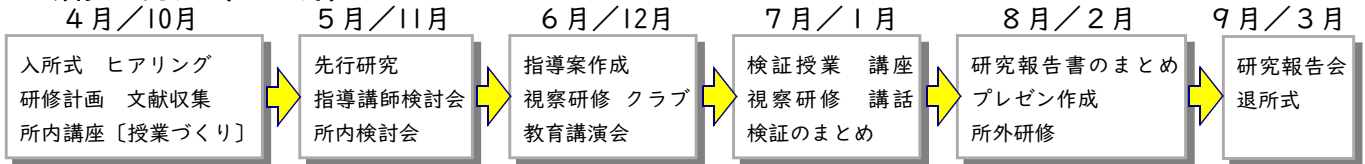
⑥ 研究員は、研究所が計画する前期入所式及び後期修了式、研究成果報告会へ参加する。

その他、前期・後期研究員に実施する研修については、園との調整により受講できる。



- 島尻教育研究所の長期研修について、概要を説明します
- 長期研修は、幼、小、中学校の教諭が、半年間、本教育研究所に籍を置き、各自のテーマに沿った研究や、教師としての知見を広める修養などの研修を行い

1 研修の流れ（6ヶ月）



2 主な所内研修

■ 研究テーマに基づく指導法工夫・改善研究

- 〔研究報告書 12頁〕 授業研究を行い、仮説検証型の報告書を作成します
- 〔ヒアリング 8回〕 研究所の主事が研究の進捗状況を聞き、助言します
- 〔指導講師検討会 5回〕 指導講師が専門的な立場で助言します
- 〔所内検討会 5回〕 テーマ、理論、検証授業等について発表・検討します



■ 教育研究員の資質向上に係る研修

- 〔所内講座・講義 10回〕 研究の進展に合わせ、研究の進め方、まとめ方など学級経営や授業づくり等に関する講座があります

- (講座例)・研究の進め方、報告書の書き方
 ・主体的・対話的で深い学びの授業
 ・授業プランシートと発問、板書
 ・プレゼンテーションの技法
 ・英語科の授業づくり
 ・幼児教育
 ・学習指導案と模擬授業
 ・学級集団づくり

■ 短期研修、教育講演会、研究団体等研究発表会への参加

3 主な所外研修

■ 視察研修

- 〔先進校視察〕 教育先進校の研究発表会等に積極的に参加します
- 〔授業研究会〕 教育研究団体の研究会、学習回への参加を推進します
- 〔教育先進地視察〕 教育先進地や学校を視察訪問し、視野を広げます
- 〔特別支援学校視察〕 特別支援学校や関係施設を訪問し、教育相談や特別な支援を要する児童生徒への対応について学びます

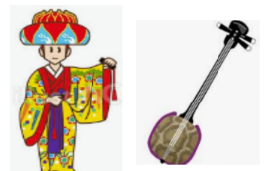


■ その他の所外研修

- 〔沖女短特設授業〕 沖縄女子短期大学の講義「先輩教師に学ぶ」にゲストティーチャーとして参加し学生との交流を通して、自らの教師としての在り方を再確認します
- 〔JICA研修生交流〕 教育研修のために来日しているJICA研修生と交流します

4 クラブ活動

- 三線 講師の先生の語りも楽しく、5回の講習会で、4～5曲習います
- 琉舞 5回の講習会で、「かぎやて風」を美しく舞うようになります



5 教育研究員の声

■ 自分が学びたいことを思う存分学べます自分の指導法に自信がない人にも是非お勧めします



■ 指導講師、指導主事の先生から助言を受けながら教科の指導方法を深く研究することができ、スキルアップに繋がります

■ 忙しさを言い訳に教材研究から目を背けてきた日々を終止符！ 理論研究から授業づくりまで、じっくり取り組むことができますよ！



■ 校種を超えて情報を交換したり、授業を見たりできる貴重な機会となっています

長期研修 所内講座実施計画

〈主な所内講座〉 ※日程や内容は、研究員の研究の状況に応じてその都度調整する。

回	期 日	講座名	主な内容（予定）	担 当
①	4 / 1 10 / 1	入所 オリエンテーション	■研修の概要 ■日程確認 ■服務規律	所長 指導主事
②	4 / 3 10 / 3	講座① 「研究の進め方」	■研究のゴールを理解し、見通しを持つ ・半年間スケジュール ・報告書のづくり ・研究発表会のビデオを見る ・研究行程 ・仮説検証の進め方	主事
③	4 / 3 10 / 2	ヒアリング① 「志望動機」	■志望動機、研究したい内容の聞き取り ・志望動機 ・研究主題 ・主題設定理由 ・具体的な手だて ・研究仮説	所長 指導主事
④	4 / 4 10 / 3	講座② 「報告書の書き方」	■報告書の様式について理解する ・報告書の様式確認 ・パソコンの設定	主事
⑤	4 / 8 10 / 7	講座③ 「学習指導要領」 (研究構想図)	■新学習指導要領が求める授業づくり ・未来の社会像・目指す人物像と資質・能力 ・目指す教育像（新学指が求める授業づくり） ・授業の現状（子供の様子から）と課題 ・解説総則編の読み合わせ ・めざす授業像	所長
⑥	4 / 8 10 / 7	ヒアリング② 「テーマ・設定理由」	■研究構想図作成の進捗状況 ・研究構想図	所長 指導主事
⑦	4 / 11 10 / 30	所外研修① 「組合関連施設見学」	■南部広域行政組合関連施設の見学等を通して、環境保全対策等について理解し、重要性を学び、日常生活及び学校教育活動において主体的に取り組む意識を高める	全員
⑧	4 / 9 10 / 15	講座④ 「プレゼンの技法」	■効果的なプレゼンの方法について知る ・パワーポイントの操作 ・効果的プレゼン	所長
⑨	4 / 14 10 / 15	指導講師検討会①	■専門的見地から指導・助言を仰ぐ	指導講師
⑩	4 / 21 10 / 9	ヒアリング③ 「研究仮説」	■テーマ・仮説・研修計画 ・研究主題 ・サブテーマ ・主題設定理由 ・研究仮説 ・研究計画	所長 指導主事
⑪	4 / 23 10 / 21	室内検討会①	■所内検討会のための事前の意見交換と練り上げ	研究員
⑫	4 / 25 10 / 24	所内検討会① 「テーマ・仮説・研究計画」	■研究計画を確定する ・研究テーマ ・サブテーマ ・テーマ設定理由 ・研究仮説 ・研究計画	全員
⑬	4 / 17 10 / 28	所内研修 「所長講話Ⅰ」		所長
⑭	5 / 8 11 / 5	講座⑤ 「授業づくり・評価」	■授業づくりと評価 ・「見方・考え方を働かせる」 ・「問い」 ・めざす資質・能力 ・学習過程 ・発問 ・めあて、活動、まとめ、振り返り、評価 ■授業の課題の確定 ■めざす授業像の確定	所長
⑮	5 / 1 11 / 4	ヒアリング④ 「理論・授業構想」	■理論・授業構想 ・見方・考え方 ・主体的～深い学び ・めざす資質能力 ・手だて、授業構想	所長 指導主事
⑯	5 / 13 11 / 11	指導講師検討会②	■専門的見地から指導・助言を仰ぐ	指導講師
⑰	5 / 2 10 / 10	所外研修②「図書関連施設見学」	■中心文献、参考文献を決める ■手だてを絞る	
⑱	5 / 19 11 / 18	室内検討会②	■所内検討会のための事前の意見交換と練り上げ	研究員
⑲	5 / 23 11 / 21	所内検討会② 「理論・授業構想」	■理論・授業構想	全員
⑳	8 / 18	教育講演会	学校現場の喫緊の課題に関する講演会	全員
㉑	5 / 26	講座⑥	■検証内容、検証の場面、検証方法について見通しを	主事

	11 / 27	「検証計画」	持ち、計画を立てる ・研究仮説 ・検証内容 ・検証の場面 ・めざす児童生徒の姿 ・検証方法 ■アンケートの内容	
②②	5 / 28 11 / 27	講座⑦ 「指導案作成・板書計画」	■学習指導案をつくる ・指導案の型 ・学習指導案の書き方 ■模擬授業	主事
②③	5 / 29 11 / 27	ヒアリング⑤ 「指導案・授業構想」	■指導案・模擬授業	所長 指導主事
②④	6 / 6 12 / 1	指導講師検討会	■専門的見地から指導・助言を仰ぐ	指導講師
②⑤		実態調査	■事前アンケートの実施 ・アンケート実施 ・データの集約、分析	研究員
②⑥	6 / 9 12 / 8	室内検討会③	■所内検討会のための事前の意見交換と練り上げ	研究員
②⑦	6 / 12 12 / 12	所内検討会③	■学習指導案	全員
②⑧	6 / 4 12 / 1	ヒアリング⑥ 「板書計画・模擬授業」	■板書計画と模擬授業 ・板書をかき、模擬授業を行う ・授業構想、プランシート、板書 ・学習指導案の修正	所長 指導主事
②⑨	6 / 4 12 / 17	学習指導案提出 学校への説明	■学習指導案を指導主事、学校に提出 ・学習指導案を指導主事に提出 ・学習指導案を校長に提出、説明	研究員
③⑩	6 / 9 1 / 14	先行実践許可	■先行実践 ■本単元の指導スタート	所長 指導主事
③⑪	7 / 2	所外研修③ 「JICA研修員と交流」	※前期のみ	全員
③⑫	6 / 24 1 / 22	所外研修④ 「沖女短学生と交流」	■特設事業「先輩教師に学ぶ」	全員
③⑬	2 / 1	先進校視察研修	任意	指導主事 研究員
③⑭	6/16～7/4 1/5～1/23	本検証授業	■本検証授業の実施 ■検証データの収集	全員
③⑮	7 / 10 1 / 22	ヒアリング⑦ 「検証・考察・まとめ」	■検証、考察、まとめの構想 ・データ、写真、映像、実物、アンケートの提示	所長 指導主事
③⑯	7 / 22 1 / 26	指導講師検討会④	■専門的見地から指導・助言を仰ぐ	指導講師
③⑰	7 / 31 2 / 4	室内検討会④	■所内検討会のための事前の意見交換と練り上げ	研究員
③⑱	8 / 13 2 / 10	所内検討会④	■検証、考察、まとめの構想	全員
③⑲	8 / 14 2 / 16	ヒアリング⑧ 「まとめ・プレゼン」	■まとめ、プレゼンテーション ・まとめの検討 ・プレゼン内容の構想	所長 指導主事
④⑩	8 / 18 2 / 19	指導講師検討会⑤	■専門的見地から指導・助言を仰ぐ	指導講師
④⑪	8 / 26 2 / 24	室内検討会⑤	■所内検討会のための事前の意見交換と練り上げ	研究員
④⑫	8 / 28 2 / 27	所内検討会⑤	■まとめ、プレゼンテーション	全員
④⑬	9 / 3 3 / 6	報告会リハーサル		全員
④⑭	9 / 9 3 / 10	教委等あいさつ訪問		研究員
④⑮	9 / 12 3 / 13	研究報告会	■研究報告会 ■修了式	全員
④⑯	9 / 18 3 / 25	ホームページアップ用 原稿提出		所長 指導主事
④⑰	9 / 17 2 / 17	所外研修⑤ 「学校施設等見学」	■通信制、私立等学校施設見学	全員
④⑱	9 / 19 3 / 17	所内研修 「所長講話Ⅱ」		所長

教育研究員研究テーマ一覧

1 教育研究員（半年）

		学校名	氏名	研究領域	研究テーマ
平成6年度後期 研究報告書第1号	1	豊見城村立 上田小学校	シガキ タダキ 新垣 忠是	小学校 教育相談	問題行動傾向児の自己指導能力育成の試み 一部活動における自己概念の変容を通して-
	2	豊見城村立 上田小学校	オゲラ キコ 小野寺 清子	小学校 生活科	生活科における年間計画の工夫 -地域素材の教材科を通して-
	3	糸満市立 真壁小学校	カミラ イツコ 神村 逸子	小学校 道徳	道徳の時間における個を生かす指導 -実態把握のあり方と意図的指名を通して-
	4	糸満市立 米須小学校	モシジャ ヒロン 諸見謝 弘	小学校 学級経営	やる気を育てる学級経営 -個人目標の認知・実践・定着化を通して-
	5	南風原町 北丘小学校	ニカドリ チカ 荷川取 千賀子	小学校 算数	個を生かす学習指導の工夫 -算数科におけるティーム・ティーチングを通して-
	6	豊見城村立 長嶺中学校	ナム トモキ 野村 朝昭	中学校 国語	生徒一人一人の自己教育力を育てるための授業の創造 -説明的文章における課題解決学習を通して-
平成7年度前期 研究報告書第2号	7	豊見城村立 上田幼稚園	トミタ サヨ 富田 佐代子	幼稚園教育	幼児一人一人の豊かな表現力を育てるための援助の工夫 -絵本とのかかわりを通して-
	8	糸満市立 糸満南幼稚園	サカミ ミチコ 佐久間 美佐子	幼稚園教育	幼稚園における望ましい統合保育のあり方 -教師と障害児、健常児、三者のかかわりあいを通して-
	9	糸満市立 光洋小学校	カス イトミ 賀数 五十美	小学校 国語	筋道を立てて話す子を育てる指導の研究 -児童の「話すこと」(内容・順序性・音声・態度)についての一考察-
	10	与那原町立 与那原小学校	テルヤ タカヨ 照屋 孝代	小学校 学級経営	自ら考え、進んで活動しようとする意欲を育てる学級経営 -一人一人のよさを生かす係活動の工夫を通して-
	11	大里村立 大里南小学校	カサキ ヨシコ 川崎 佳子	小学校 国語	一人一人が意欲的に取り組む作文指導 -意見文の指導を通して-
	12	南風原町立 北丘小学校	コハツ クミコ 小波津 久美子	小学校 教育相談	いじめに関する基礎的研究と指導の一視点 -個をとりまく学級集団の指導を通して-
平成7年度後期 研究報告書第3号	13	具志頭村立 具志頭中学校	ヤマダ ヒロン 山田 宏	中学校 教育相談	生徒の心の迫る教育相談 -自己教育力を高めるかかわり-
	14	豊見城村立 豊見城幼稚園	オトメ タキコ 奥那嶺 多喜子	幼稚園教育	幼児が話を聞く、話す楽しさや喜びを味わうようになるための援助の工夫 -日常生活の中の遊びを通して-
	15	糸満市立 兼城幼稚園	マコシ リコ 又吉 ノリ子	幼稚園教育	幼児一人一人の発達に応じる生活のあり方についての実践的研究 -保育記録の整理と活用に着目して-
	16	豊見城村立 伊良波小学校	ヒラタ キヨミ 平田 清美	小学校 国語	豊かに読み取る力を育てる問題解決学習の深め方 -文学教材の読みを通して読書生活へ-
	17	糸満市立 兼城小学校	カガワ セイジ 亀川 盛敏	小学校 算数	自ら学ぶ意欲を育てる問題解決学習の深め方 -個人差に応じる指導と数学的思考方を通して(5年図形の面積)-
	18	糸満市立 糸満小学校	シジ ヨウ エイコ 新城 栄子	小学校 道徳	内面に根ざした道徳性の育成と実践をめざす道徳教育 -体験を生かした授業実践を通して-
平成8年度前期 研究報告書第4号	19	糸満市立 真壁小学校	ナムラ カミ 仲村 克美	小学校 特別活動	楽しくうらおいのある学級をめざして -歌声、身体表現で深める人間関係づくりを通して-
	20	玉城村立 玉城中学校	イノウエ リツコ 井上 律子	中学校 学級経営	自己教育力を育てる学級経営 -生徒理解と教育相談を通して-
	21	豊見城村立長嶺幼稚園	トメ リコ 當銘 ノリ子	幼稚園教育	幼児が充実した園生活を過ごすための援助の工夫 -身近な素材と環境にかかわらせながら-
	22	佐敷町立 佐敷幼稚園	タキ ミエコ 玉城 美慧子	幼稚園教育	幼児の発達を促すための環境構成の工夫 -戸外における遊具の活用を通して-
	23	糸満市立 喜屋武小学校	キンジ ヨウ ケイコ 金城 佳子	小学校 国語	思考力を育てる学習指導の工夫 -一人学習を生かした物語文の授業実践を通して-
	24	東風平町立東風平小学校	サケト ヒロシ 佐久本 広志	小学校 社会	主体的に学ぶ学習指導の工夫 -謝花昇の教材化を通して-
平成8年度後期 研究報告書第5号	25	糸満市立 西崎小学校	トクムラ マサキ 徳村 政宜	小学校 学級経営	一人一人を生かす学級経営 -学級経営年間指導計画の作成を通して-
	26	糸満市立 高嶺小学校	オシロ リコ 大城 典子	小学校 学級経営	一人一人の活動意欲を育てる学級経営 -学級活動における集会活動の計画・実践を通して-
	27	糸満市立 光洋小学校	トウバル アサコ 桃原 アサ子	小学校 教育相談	学校生活におけるよりよい適応を目指す援助のあり方 -登校拒否児、場面かん黙児の事例を通して-
	28	豊見城村立豊見城中学校	キンジ ヨウ セイコ 金城 正子	中学校 英語	異文化コミュニケーション能力を育てる指導法の工夫 -言語や文化についての学習指導を通して-
	29	豊見城村立伊良波幼稚園	ウエハラ リコ 上原 則子	幼稚園教育	言葉の豊かな幼児をめざして -聞く、話す楽しさを味わうようになるための環境構成と援助の工夫-
	30	糸満市立 高嶺幼稚園	ヤビク トシコ 屋比久 トシ子	幼稚園教育	心情の豊かな幼児の育成 -地域の民話やわらべ歌の教材化を通して-
	31	糸満市立 糸満南小学校	キンジ ヨウ キンヤ 金城 欽也	小学校 国語	一人一人が自ら意欲的に学ぶ国語科学習指導の工夫 -音読・朗読を重視した学習過程を通して-
	32	大里村立 大里北小学校	オトメ マサヒデ 奥那嶺 政秀	小学校 算数	自ら学ぶ意欲を育てる算数科学習指導の工夫 -問題解決の過程における自己評価活動を通して-
	33	糸満市立 喜屋武小学校	クニ ヨウコ 久米 洋子	小学校 道徳	豊かな心と主体的実践力を育てる指導の工夫 -総合的学習指導の実践を通して-
	34	知念村立 知念小学校	タマシロ トモコ 玉城 智子	小学校 特別活動	主体的に活動する児童を育てる学級活動 -係活動の活性化の工夫を通して-

	35	糸満市立 潮平小学校	マコシ カオリ 又吉 かおり	小学校 へき地教育	複式学級における自ら学ぶ力を育てる学習指導の工夫 ー算数科における主体的な学習の仕方の指導を通してー
	36	糸満市立 糸満小学校	タイラ モトコ 平良 幹子	小学校 特殊教育	知的障害児における文字指導の工夫 ーUM児のひらがな学習を通してー
	37	南風原町立南 星中学校	ザカビ サチ 座嘉比 幸枝	中学校 国語	音声言語表現能力を育てる国語科学習指導の工夫 ー音声言語指導の場の設定と年間指導計画への位置付けを通してー
平成9年度前期 研究報告書第6号	38	知念村立 知念小学校	トカズ サユリ 糸数 佐百合	小学校 国語	主体的な表現意欲を育てる授業の工夫 ー2年教材「スイミー」の学習指導を通してー
	39	与那原町立与 那原東小学校	ミヤギ リエコ 宮城 利恵子	小学校 生活科	豊かな体験を通して生き生きと活動する児童の育成 ー一人一人の思いや願いを生かした生活科授業の創造ー
	40	糸満市立 糸満小学校	グシ サチ 具志 幸恵	小学校 特別活動	主体的に活動する意欲を育てる学級活動 ー話し合い活動の支援の工夫ー
	41	糸満市立 糸満南小学校	トミカ マチ 富永 真智子	小学校 学級経営	一人一人が楽しく充実した生活のできる学級経営をめざして ー一個を生かす学級経営の改善・工夫を通してー
	42	糸満市立 兼城小学校	テルヤ シズエ 照屋 静江	小学校 学校経営	校内研究を活性化させる学校経営 ー組織・運営の工夫を通してー
	43	豊見城村立豊 見城小学校	シメジ ヨネ 下地 米子	小学校 教育相談	望ましい人間関係を育てるための教育相談 ーいじめ問題とその対策を通してー
	44	与那原町立 与那原中学校	イ シュウジ 伊井 秀治	中学校 教育相談	生徒の自己教育力を高める教育相談 ー不登校生徒の理解と援助の在り方を通してー
平成9年度後期 研究報告書第7号	45	糸満市立 潮平幼稚園	ウエハラ ジュンコ 上原 順子	幼稚園教育	豊かな心を育てるための保育実践をめざして ー幼児一人ひとりが友達とのかかわりの中で育ち合う援助を通してー
	46	南風原町立 北丘幼稚園	ナカサト タケ 仲里 竹子	幼稚園教育	思いやりを育てる援助の在り方 ー身近な人々や自然との触れ合いの中からー
	47	糸満市立 喜屋武小学校	ウエハラ チキ 上原 千秋	小学校 国語科	主体的に表現する力を育てる学習指導のあり方 ー2年教材「こんなお話を考えたよ」の作文指導を通してー
	48	糸満市立 潮平小学校	イシカワ ナミ 石川 なおみ	小学校 国語科	楽しく読み深めるための授業の工夫 ー物語教材「お手紙」の学習を通してー
	49	糸満市立 光洋小学校	ヒラタ カツリ 平田 勝典	小学校 国語科	「交信する子ども」を育む授業の創造 ー文学教材の学習を通してー
	50	佐敷町立 佐敷小学校	タマハ アキミ 玉那覇 明美	小学校 国語	読書意欲を高める指導の工夫 ー読書記録を通してー
	51	糸満市立 糸満小学校	メダル シゲオ 銘苅 繁雄	小学校 特殊教育	主体性を育てるIEPを生かした学習指導 ー自然の素材を目指してー
	52	東風平町立 白川小学校	マエサト アキミ 前里 朱美	小学校 道徳	内面に根ざした道徳性の育成を目指して ーモラルジレンマの授業を実践してー
	53	東風平町立 東風平中学校	ヒカ トモヤ 比嘉 智也	中学校 数学	数学的な見方や考え方を育てる指導の工夫 ー自力解決の場における支援を通してー
	54	糸満市立 潮平小学校	ミヤギ シノブ 宮城 しのぶ	小学校 社会科	社会科を核とした国際理解教育の工夫 ー体験的学習を通してー
平成10年度前期 研究報告書第8号	55	糸満市立 光洋小学校	ナカサト タシ 仲里 孝	小学校 社会科	一人ひとりを生かす学習指導の工夫 ー「くらしのなかの水(4年)」の指導を通してー
	56	具志頭村立 具志頭小学校	トケト ヒロミ 徳元 ひろみ	小学校 国語科	主体的な学び手が育つ授業の創造にむけて ー4年説明的文章教材「おかしな話」の指導を通してー
	57	豊見城村立 豊見城小学校	ヒカ マエ 比嘉 史江	小学校 図画工作	創造活動に意欲的に取り組む授業の工夫 ー中学年における「材料を基にした造形活動」の学習を通してー
	58	南風原町立 津嘉山小学校	トカズ マチ 糸数 昌子	小学校 図画工作	一人ひとりが表現の喜びを味わうことのできる学習指導の工夫 ー自由発想をめぐらす絵の指導を通してー
	59	南風原町立 翔南小学校	シマブネ ケン 島袋 健	小学校 学級経営	その子らしさを生かす学級経営をめざして ー構成的グループカウンターを通してー
	60	玉城村立 船越小学校	トモエ ヤエコ 友寄 弥栄子	小学校 特別活動	自発的、自治的な実践力を育てる児童会活動 ー異学年交流を通してー
	61	糸満市立 真壁幼稚園	タマキ キヨコ 玉城 紀代子	幼稚園教育	主体的・意欲的な幼児の生活を促す園行事の工夫 ーお誕生会を通してー
平成10年度後期 研究報告書第9号	62	知念村立 知念幼稚園	タマキ ヒサコ 玉城 久子	幼稚園教育	思いやりのある子を育てる援助の工夫 ー共に生活する中で人とのかかわりを通してー
	63	糸満市立 米須小学校	ナカムラ ヒデヤ 仲村 秀也	小学校 体育科	個のよさが生きる学習指導の工夫 ー集団跳び箱運動を通してー
	64	糸満市立 糸満南小学校	アラキ ヒロシ 新垣 弘	小学校 教育相談	共通理解を図る教育相談のあり方 ー全校体制の取り組みを通してー
	65	糸満市立 真壁小学校	ヘンザン ヨシヤス 平安山 良康	小学校 学校経営	「自己教育力」の育成を図る学校経営 ー総合的な学習の教育課程の編成を通してー
	66	糸満市立 光洋小学校	キンゾウ チキ 金城 千秋	小学校 学級経営	望ましい人間関係を育てる学級経営 ー心の通い合う学級づくりの工夫を通してー
	67	玉城村立 船越小学校	ナカヤマ キミコ 永山 公子	小学校 特別活動	主体的に活動する児童を育てる学級活動 ー話し合い活動における支援の工夫を通してー
	68	南風原町立 津嘉山小学校	タマキ サチコ 玉城 幸子	小学校 教育相談	気になる児童の好ましい人間関係を育てる援助 ー構成的グループ・エンカウンターの実践を通してー
	69	知念村立 知念中学校	チバナ アヤコ 知花 綾子	中学校 国語科	語彙を豊かにし、表現力・理解力を高める授業の工夫 ーことば遊びの指導を通してー
	70	大里村立 大里南小学校	オナネ ヤスシ 與那嶺 靖	小学校 道徳	生きる力を育てる道徳教育 ー道徳性の育成を図る加教材の単元構成を通してー

	71	東風平町立 白川小学校	イイ トケン 伊計 徳善	小学校 教育相談	子どもの自立を助ける生徒指導体制のあり方 ー多種多様な事例研究会を通してー
	72	東風平町立 東風平小学校	カガワ ナキ 亀川 千明	小学校 算数科	多様な考えを生かした学習指導の工夫 ー練り合いを深める支援の計画を通して(3年わり算)ー
	73	糸満市立 糸満南小学校	シメジ ヨウ ソエミ 下門 添美	小学校 学級経営	一人ひとりが生き生きと活動する学級経営の工夫 ー個々のよさを生かした場づくりを通してー
	74	糸満市立 西崎小学校	レイ エミコ 伊禮 恵美子	小学校 教育相談	「気になる子(多動児)」への支援を図る教育相談 ー事例研究会を通してー
	75	与那原町立 与那原東小学校	ミヤギ アケミ 宮城 アケミ	小学校 総合的な学習	一人ひとりを生かし自ら学ぶ力を育てる問題解決学習の創造 ー社会科から発展し地域の特徴に応じた総合的な学習を通してー
	76	糸満市立 西崎中学校	ホリカワ マグミ 堀川 恵	中学校 教育相談	学級担任としての教育相談の在り方 ー不登校の事例を通してー
平成11年度後期 研究報告書第11号	77	糸満市立 喜屋武幼稚園	カキヤマ ナツコ 神山 千鶴子	幼稚園教育	幼児の望ましい発達を促すための環境構成の工夫 ーターザンロープやスクーター遊びを通してー
	78	豊見城村立 座安幼稚園	アハネ ユウコ 赤嶺 優子	幼稚園教育	心豊かに充実した園生活を送るための工夫 ー絵本の読み聞かせと関わった表現活動を通してー
	79	糸満市立 喜屋武小学校	ナカニシ エイジ 仲西 栄信	小学校 生徒指導	人間関係を豊かにする生徒指導 ー小規模校における担任の関わりを通してー
	80	糸満市立 高嶺小学校	トキ シン 渡名喜 信	小学校 算数科	自ら学ぶ意欲を育てる指導の工夫 ー教材・教具の活用を通してー
	81	糸満市立 西崎小学校	ノベ ナツコ 能登 美智子	小学校 教育相談	不登校児童への援助のあり方 ー学級担任の役割を通してー
	82	豊見城村立 豊見城小学校	ウエハラ ヒロシ 上原 弘充	小学校 教育相談	豊かな人間関係を育てるための支援 ー教育相談的アプローチを通してー
	83	与那原町立 与那原小学校	キンゾウ キヨミ 金城 清美	小学校 生活科	一人ひとりの思いや願いを生かす学習活動の工夫 ー身近な人々や自然のかかわりを通してー
	84	糸満市立 西崎中学校	ナカムラ アイコ 中村 愛子	中学校 学級経営	意欲的に活動する生徒を育てる学級経営のあり方 ー係活動・自己点検表の活用を中心にー
	85	与那原町立 与那原中学校	サキヤマ キヨコ 崎山 喜代子	中学校 教育相談	自己教育力を育む教育相談 ー個を伸ばす学級集団づくりを通してー
平成12年度前期 研究報告書第12号	86	糸満市立 高嶺幼稚園	オシロ ナツコ 大城 幸子	幼稚園教育	喜んで登園できる幼児の育成 ー園歌とかかわる環境や遊びの工夫を通してー
	87	玉城村立 玉城小学校	ヨシネ ケイコ 與那嶺 啓子	小学校 教育相談	発達課題を抱える児童の心理理解と援助 ー教師による描画法を通してー
	88	糸満市立 光洋小学校	ハシカ ユミコ 橋川 由美子	小学校 学級経営	望ましい人間関係を育てる学級経営 ーグループ活動の工夫を通してー
	89	東風平町立 東風平小学校	ヒカ ケイコ 比嘉 恵子	小学校 教育相談	不登校児童への支援を図る教育相談 ー個別のアプローチと人間関係を育てる援助を通してー
	90	糸満市立 糸満南小学校	ヒカ ケイコ 比嘉 恵子	小学校 国語	児童が意欲的に取り組む作文指導の工夫 ー五感を働かせて観察したことを文などに表す指導を通してー
	91	糸満市立 西崎中学校	カセ ナツコ 加勢 美智子	中学校 学級経営	「共に生きる」を考える学級経営 ー対話・交流活動を通してー
平成12年度後期 研究報告書第13号	92	知念村立 知念小学校	クシオ アキラ 黒潮 彰	小学校 学校経営	学校の活性化を図るための方策 ースクールリーダーの役割と機能の充実を通してー
	93	南風原町立 南風原小学校	ヨシネ ナガコ 与那嶺 永子	小学校 生活科	地域に愛着をもつ児童の育成をめざして ー地域の人々との主体的なかかわりを通してー
	94	南風原町立 翔南小学校	タイラ コズエ 平良 梢	小学校 特別活動	主体的に活動する児童を育てる特別活動の指導の工夫 ー学級活動における「話し合いの活動」を通してー
	95	糸満市立 真壁小学校	カテガキ ユウコ 嘉手苺 友子	小学校 道徳	郷土を大切に育てる心の育成 ー地域素材の教材化を通してー
	96	豊見城村立 上田小学校	ヨシタ ナツコ 與世田 典子	小学校 国語科	自分の思いを伝え合うことのできる児童の育成 ー「話すこと・聞くこと」の指導を通してー
	97	糸満市立 糸満中学校	ツカサネ サユリ 津嘉山 さゆり	中学校 教育相談	好ましい人間関係の確立をめざして ー構成的グループエンカウンター手法を生かしてー
	98	東風平町立 白川幼稚園	ケニヨシ カズミ 国吉 和美	幼稚園教育	一人一人のよさや可能性を生かす援助の工夫 ーその子なりの表現を大切に「夏の遊びを楽しむ」活動を通してー
平成13年度前期 研究報告書第14号	99	南風原町立 津嘉山幼稚園	ウエハラ アヤコ 上原 綾子	幼稚園教育	心豊かな幼児の育成 ー郷土の民話やわらべうたを通してー
	100	糸満市立 糸満南小学校	スエツガ エウコ 末次 悦子	小学校 国語科	「読むこと」の基礎・基本の定着を図る学習指導の工夫 ー声に出して読む活動を中心にー
	101	東風平町立 白川小学校	マダノバシ ハツコ 真玉橋 初子	小学校 特殊教育	よりよく生きるための生活単元学習の工夫 ー読書活動における個別指導を通してー
	102	知念村立 知念小学校	トウヤマ リノ 當山 園代	小学校 生活科	身近な人々や自然に進んでかかわる学習指導の工夫 ー海たんけんを通してー
	103	南風原町立 南星中学校	ギマ セイジ 儀間 盛伸	中学校 社会科	社会科における主体的に学ぶ意欲を育む学習指導の工夫 ー問題解決的な学習における表現活動を通してー
	104	知念村立 知念中学校	アラサキ オリキ 新崎 順明	中学校 教育相談	生徒の自己指導力を高める教育相談 ー一人一人の内面理解を通してー
	105	糸満市立 高嶺幼稚園	ナガシマ ハツミ 長嶺 初美	幼稚園教育	幼児が豊かな言葉で表現する援助の工夫 ー自分の思いや考え、感動体験を話す活動を通してー
	106	与那原町立 与那原東小学校	キンゾウ シュンコ 金城 淳子	小学校 生活科	一人一人の思いや願いを生かし、生き生きと活動する児童の育成 ー公共物や公共施設の利用を通してー
平成13年度後期 研究報告書第15号	107	玉城村立 百名小学校	ミネ ノゾミ 嶺井 のぞみ	小学校 生活科	児童が生き生きと活動していく学習指導の工夫 ー地域素材の教材化を通してー

	108	与那原町立 与那原小学校	イナネ マコ 與那嶺 正子	小学校 社会	興味・関心を持って楽しく学ぶ児童の育成 ー社会科学学習における「つかむ」段階の指導を通してー
	109	糸満市立 潮平小学校	ウエハラ ヤスヒデ 上原 康秀	小学校 総合的学習	見通しを持ち、自ら学ぶ児童の育成 ー総合的な学習における課題作りを通してー
	110	糸満市立 糸満中学校	カサト ミチ 神里 美智子	中学校 数学	基礎的・基本的な内容の定着を図る学習指導の工夫 ー問題解決的な学習を通して(1年方程式)ー
	111	豊見城村立 豊見城中学校	トウマ キヨシ 唐真 清	中学校 数学	生徒が主体的に学習に取り組む学習指導の工夫 ー図形領域におけるコンピュータの活用を通してー
平成14年度前期 研究報告書第16号	112	与那原町立 与那原東幼稚園	カデ カルスミエ 嘉手苺 すみ江	幼稚園教育	伸び伸びと自己表現できる援助の工夫 ー地域行事を生活に取り入れることを通してー
	113	大里村立 大里南幼稚園	オオシロ ミユ 大城 美恵子	幼稚園教育	幼児の「しなやかな心と体」を育てるためのチーム保育の工夫 ー園内研修の充実を通してー
	114	糸満市立 米須小学校	スガワ ミツル 砂川 充	小学校 算数	基礎的・基本的事項の定着を図る学習指導の工夫 ー少人数による個に応じた指導とカードの活用を通して(5年小数のかけ算)ー
	115	糸満市立 光洋小学校	マエウ マコ 前新 マチ子	小学校 生活	児童が生き生きと活動する生活科授業の創造 ー一人一人の思いや願いを生かした「地域探検活動」を通してー
	116	東風平町立 東風平小学校	キョウジョウ ヒロミ 金城 博美	小学校 級経営	一人一人のよさを認め合える人間関係を育てる学級経営 ー班活動を中心とした学級行事「お誕生会」への取り組みを通してー
	117	糸満市立 西崎小学校	トキ ルミ 渡名喜 留美子	小学校 総合的学習	ー学習材の作成と体験的な活動の工夫を通して(4年「英語で遊ぶ」)ー
	118	糸満市立 西崎中学校	ナカ トモヤス 名嘉真 朝靖	中学校 数学	生徒が意欲的に取り組む学習指導の工夫 ー個に応じた少人数指導を通して(1年正の数・負の数)ー
平成14年度後期 研究報告書第17号	119	糸満市立 西崎幼稚園	ヒカ ユミ 比嘉 由美子	幼稚園教育	意欲的に遊ぶ幼児を育てる環境構成と援助の工夫 ー楽器遊びを通してー
	120	南風原町立 北丘幼稚園	アカネ リツ 赤嶺 律子	幼稚園教育	豊かな心を育てる幼稚園を目指して ー自然環境を生かした工夫と援助を通してー
	121	知念村立 知念小学校	ミネ ジュンコ 嶺井 順子	小学校 国語	読書意欲を高める学習指導の工夫 ーアニメーションの手法を取り入れた読書活動を通してー
	122	糸満市立 糸満南小学校	シガキ ノリヒコ 新垣 典彦	小学校 算数	算数的活動の楽しさを味わわせる学習指導の工夫 ー関数の考えを用いた問題作りの活動を通してー
	123	豊見城市立 とよみ小学校	ナカノガリ ヨロ 仲村渠 ゆり子	小学校 生活	学びを発展させる生活科の学習指導の工夫 ー1年「むかしあそび」の単元を通してー
	124	糸満市立 光洋小学校	サキハラ タカ 崎原 貴子	小学校 教育相談	よりよい人間関係をはぐくむ支援の在り方 ーソーシャルスキル教育と構成的グループエンカウンター統合を通してー
	125	糸満市立 西崎中学校	ミヤギ ノブコ 宮城 伸子	中学校 国語	基礎的・基本的事項の定着を図る学習指導の工夫 ー「伝え合う力」を高めるための話す・聞く活動を通してー
	126	糸満市立 糸満中学校	シメジ サエ 下地 早苗	中学校 英語	実践的コミュニケーション能力の基礎を養う学習指導と評価の工夫 ー「聞くこと・話すこと」を中心とした言語活動を通してー
平成15年度前期 研究報告書第18号	127	大里村立 大里南幼稚園	ヤカ マツエ 屋我 松枝	幼稚園教育	人とのかかわる力を育てるための援助の工夫 ー遊びの中での感情体験を通してー
	128	南風原町立 南風原幼稚園	ウカガ レイコ 翁長 麗子	幼稚園教育	心豊かな幼児の育成をめざした援助のあり方 ー保育ノウハウを基にした幼児理解と自然環境や援助の工夫を通してー
	129	糸満市立 兼城小学校	トウメ ケイコ 當銘 恵子	小学校 国語	生き生きと楽しんで書くことのできる子を育てる指導の工夫 ー思いを伝える「手紙を書くこと」の言語活動を通してー
	130	知念村立 知念小学校	ヒカ ヨロ 比嘉 頼子	小学校 国語	伝えたいことをよく分るように話すことのできる児童の育成 ー教材の選定、相手・目的意識の明確化、言語環境の整備を通してー
	131	糸満市立 真壁小学校	クリマ カツエ 來間 勝枝	小学校 算数	基礎的・基本的な内容の定着を図る学習指導の工夫 ー習熟度別指導による少人数授業を通してー
	132	糸満市立 潮平中学校	アカネ ユキノ 赤嶺 幸乃	中学校 英語	実践的コミュニケーション能力を伸ばす学習指導の工夫 ー選択教科での会話表現の指導を通してー
	133	東風平町立 東風平中学校	コハシガワリ アユミ 小橋川 あゆみ	中学校 教育相談	よりよい人間関係をはぐくむ授業の工夫 ー授業に生かすカウンセリングの手法を通してー
平成15年度後期 研究報告書第19号	134	与那原町立 与那原幼稚園	テルヤ ノボ 照屋 信子	幼稚園教育	人とのかかわる力が育つための援助の工夫 ー日々の遊びと保育参加を通してー
	135	糸満市立 兼城幼稚園	イネ ショウコ 稲嶺 彰子	幼稚園教育	豊かな感性を育てるための援助の工夫 ー劇遊びを通してー
	136	知念村立 知念小学校	イケシ 路子 池城 路子	小学校 国語	考えを広げたり、深めたりする「読むこと」の学習指導の工夫 ー文学教材の重ね読みと考えの相互交流を通してー
	137	玉城村立 船越小学校	ウエハラ ジュンコ 上原 純子	小学校 算数	確かな学力の向上を図る指導方法の工夫 ーT.Tを生かした学習形態と算数的活動を通して(6年比例)ー
	138	豊見城市立 豊見城小学校	ハシロ ミドリ 花城 みどり	小学校 体育	リズムダンスの楽しさを味わう学習指導の工夫 ー選曲や場の設定、支援の仕方を通してー
	139	南風原町立 翔南小学校	マタシ タカ 又吉 孝子	小学校 教育相談	望ましい人間関係の確立をめざして ー総合的な学習の時間における開発的カウンセリングを通してー
	140	南風原町立 南星中学校	ノハラ マキ 野原 麻紀	中学校 国語	基礎的・基本的な内容の定着を図る学習指導の工夫 ー「読むこと」における音読と多様な言語活動を通してー
	141	糸満市立 糸満中学校	ツダ タル 角田 るり	中学校 教育相談	互いを認め合う学級集団をつくる工夫 ー構造的グループエンカウンターとグループワークトレーニングを通してー
平成16年度前期 研究報告書第20号	142	糸満市 糸満南幼稚園	ノボル リミ 登 紀美	幼稚園教育	園内研修充実のための工夫 ー身近な自然物を使った造形遊びー
	143	糸満市 光洋小学校	ミヤギ ショ 宮城 美智子	小学校 国語	伝え合う力を高める話し合う活動の指導 ー話材の選定や学習形態の工夫を通してー
	144	大里村 大里南小学校	トイ トル 土居 徹	小学校 道徳	夢や希望を育てる道徳の授業の工夫 ー構造化方式の道徳授業の実践を通してー

	145	糸満市 糸満南小学校	フルゲン ミサ 古堅 みさえ	小学校 教育相談	望ましい人間関係をはぐくむ支援の在り方 ー構成的グループエンカウンターとソーシャル教育の統合を通してー
	146	豊見城市 長嶺中学校	マツタ ケイ 松下 啓子	中学校 社会	自ら学び、自ら考える力を育てる社会科学学習指導の工夫 ー適切な課題を設けて行う学習と自己評価能力の育成を通してー
	147	具志頭村 具志頭中学校	ウエハラ アツ 上原 淳	中学校 教育相談	A D H D理解と支援の在り方 ー自己肯定感の育成とよりよい学級集団づくりを通してー
平成16年度後期 研究報告書第21号	148	玉城村立 玉城幼稚園	イヅツコ 伊集 恒子	幼稚園教育	一人一人が豊かに表現する力を育む援助の工夫 ー身近な素材にかかわり活動することを通してー
	149	南風原町立 北丘小学校	ミヤヒラ ヤスミ 宮平 やすみ	小学校 国語	自分の思いや考えを伝え合うことによって、学び合い、深め合う国語科の授業 ー読み取ったことを伝え合う感想交流を通してー
	150	豊見城市立 長嶺小学校	ナカムラ 保 仲村 保	小学校 社会	社会認識を育てる問いの構造化による学習指導の工夫 ー発問や資料の工夫、体験的な学習や考えを深める場の設定を通してー
	151	豊見城市立 とよみ小学校	モリ カヲ 森 力	小学校 算数	基礎・基本の確実な定着を図る算数科指導のあり方 ー個に応じた指導のための評価の工夫を通してー
	152	佐敷町立 佐敷小学校	アサキ シノ 新崎 蘭子	小学校 生活	一人一人の思いや願いを生かす学習展開の工夫 ー地域素材(佐敷干潟)の教材化を通してー
	153	豊見城市立 伊良波中学校	ヒカ マサキ 比嘉 正樹	中学校 社会	自ら学び考え、楽しさを実感できる授業の工夫 ー学び方を学ぶ学習と討論学習を通してー
	154	豊見城市立 長嶺中学校	トウバル ヒデミ 桃原 秀美	中学校 英語	基礎的・基本的事項の定着を図る学習指導の工夫 ーワークシートを活用した「書く」活動の指導を通してー
平成17年度前期 研究報告書第22号	155	東風平町立 東風平小学校	オシ アケミ 大城 明海	小学校 国語	読むことと能力を育てるための指導の工夫 ー「声に出して読むこと」の活動を通してー
	156	座間味村立 阿嘉小学校	キンジ ヨウ アケミ 金城 明美	小学校 算数	数についての感覚を豊かにする指導の工夫 ー十進位取り記数法の理解を図る算数的活動を通してー
	157	豊見城市立 長嶺小学校	タイ シンゾ 平良 振二	小学校 算数	数学的な考え方を育てる指導の工夫 ーワークシートの活用と算数的活動を通してー
	158	豊見城市立 豊見城中学校	ネメ ミドリ 根路 銘 みどり	中学校 英語	積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒の育成 ー構成的グループエンカウンターの手法を取り入れた言語活動を通してー
	159	知念村立 知念中学校	オワン サトル 大湾 悟	中学校 経営	学年の協働体制の確立を目指す学年経営 ー総合的な学習の時間における学校支援組織との連携を通してー
平成17年度後期 研究報告書第23号	160	糸満市立 潮平幼稚園	キンジ ヨウ アケミ 金城 明美	幼稚園教育	友達とのかかわりを深めるための援助の工夫 ー自己発揮と自己抑制を促す援助を通してー
	161	糸満市立 米須小学校	サカワ カエ 佐久川 かつ枝	小学校 算数	数学的な考え方を育てる指導の工夫 ー算数的活動と学び合いの場の設定を通して(2年「かけ算②」)ー
	162	糸満市立 潮平小学校	タナハ ミヨ 玉那覇 三千代	小学校 道徳	道徳的価値の自覚を深める道徳の授業の工夫 ー体験を生かして道徳的価値形成を図る指導ー
	163	豊見城市立 上田小学校	ミヤグニ サガアキ 宮国 定明	小学校 特別支援	通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童への指導 ー個別の指導計画の作成とチームによる支援を通してー
	164	南城市立 百名小学校	ミウ リカ 三浦 リカ	小学校 教育相談	単学級におけるよりよい学級集団の育成 ーリレーシヨンの確立とマナーの確立を通してー
	165	糸満市立 潮平中学校	カニキ キコ 神谷 公子	中学校 保健体育	生活の中で自ら健康を考え、実践しようとする態度の育成 ー選択教科における課題学習を通してー
	166	糸満市立 高嶺中学校	タケハナ ヒデマサ 垣花 英正	中学校 学年経営	やる気を持って学習活動に取り組む生徒を育てる学年経営 ー目標設定の指導と学年の協働支援を通してー
	167	糸満市立 高嶺幼稚園	シマヅエ ショウコ 島添 章子	幼稚園教育	遊びの充実感を味わうための環境構成と援助の工夫 ー幼児の遊び能力に応じたボール遊びを通してー
平成18年度前期 研究報告書第24号	168	八重瀬町立 東風平小学校	ヒカミズエ 比嘉 瑞恵	小学校 国語	読書の範囲を広げようとする態度を育てる指導の工夫 ー読書アニメーションの手法を通してー
	169	糸満市立 西崎小学校	ナカサ タカシ 仲座 正	小学校 保健体育	安全な生活を営もうとする児童を育てる指導の工夫 ー「けがの防止」における課題解決的な学習と横断的な学習を通してー
	170	南城市立 知念小学校	タナシ ケイ 玉城 桂子	小学校 総合的な学習	総合的な学習の時間における「学び方技法」を身に付けさせる指導の工夫 ー学習ヒントのあるワークシートとルーブリックの活用を通してー
	171	南城市立 佐敷中学校	ウエハラ マサトモ 上原 正寛	中学校 数学	基礎的・基本的事項の定着を図る学習指導の工夫 ールーブリックを活用した指導と評価を通してー
	172	八重瀬町立 具志頭中学校	ヒカ トモ 比嘉 智子	中学校 特別支援教育	難聴生徒における人間関係形成能力を培う支援の工夫 ーV L Fプログラムとソーシャルスキルトレーニングを通してー
	173	豊見城市立 長嶺小学校	ウチマ ヒカル 内間 晃	小学校 社会	社会的な思考力・判断力を育てる学習指導の工夫 ー複線型授業と問いの構造化を通してー
	174	南城市立 大里南小学校	シノタ サシ 城田 聡	小学校 体育	自ら跳び箱運動の楽しさを味わう体育学習の工夫 ー系統性のある学習と基礎感覚づくり運動を通してー
平成18年度後期 研究報告書第25号	175	糸満市立 潮平小学校	シモジ マグミ 下地 恵	小学校 道徳	「思いやりの心を持ち、行動しようとする力」を育てる指導の工夫 ー個の発達段階を高めるV L F授業を核にした総合単元的な道徳学習を通してー
	176	東風平町立 東風平中学校	オハラ エコ 奥原 絵理子	中学校 数学	発展的に考える力を育てる数学指導の工夫 ー「考える足場」を活かす授業と発展のきっかけとなる発問を通してー
	177	糸満市立 潮平中学校	タイ マナリ 平良 真也	中学校 体育	命の危機に対応できる生徒を育てる指導の工夫 ー自己効力理論を応用した「応急手当」の学習を通してー
	178	八重瀬町立 具志頭中学校	トウバル セツコ 桃原 節子	教育相談	支え合う人間関係づくりの支援の工夫 ー学級内のピア・サポート活動を通してー
	179	糸満市立 糸満幼稚園	マツバラ アサコ 松原 麻子	幼稚園教育	主体的に活動するための環境構成と援助の工夫 ー地域行事のごっこ遊びを通してー
	180	南風原町立 南風原小学校	ツバ トモミ 津波 友美	小学校 国語	低学年において叙述に即して読む力を育む学習指導の工夫 ー説明的文章における書く活動を通してー
平成19年度前期 研究報告書第26号	181	南風原町立 翔南小学校	カカト ムリ 仲本 ゆかり	小学校 生活	児童が生き生きと活動する学習指導の工夫 ー「地域探検活動」を通してー

	182	与那原町立 与那原東小学校	テルヤ 柳エ 照屋 オリエ	小学校 道徳	道徳的価値の自覚を深める道徳の授業の工夫 －読み物資料の分割提示・表現活動を通して－
	183	糸満市立 潮平小学校	オシロ ムコ 大城 由美子	小学校 英語	小学校における英語活動の推進をめざして －英語活動の調査と資料提供を通して－
	184	糸満市立 高嶺中学校	キタヤマ アイ 北山 愛	中学校 道徳	主体的に考え、道徳的な価値判断ができる力を育む道徳の授業の工夫 －葛藤を引き起こすための「ゆさぶり」の方法を通して－
平成19年度後期 研究報告書第27号	185	糸満市立 光洋小学校	カミムラ サコ 仲村 佐代子	小学校 英語	発達段階に応じた題材や活動等の 系統付けを通して －発達段階に合った系統的な題材や活動の選定を通して－
	186	南城市立 馬天小学校	アラキ カシ 新垣 隆	教育相談	望ましい人間関係づくりの支援と工夫 －開発的カウンセリングとブリーフセラピーの技法を通して－
	187	豊見城市立 長嶺小学校	チネ カリ 知念 香	教育相談	互いに認め合う学級集団づくりの工夫 －教科・領域の指導にSGEやSSTの活用を通して－
	188	糸満市立 高嶺中学校	アカネ ナミ 赤嶺 直美	中学校 英語	実践的コミュニケーション能力を育てる学習指導の工夫 －小学校英語活動を基盤としたペアワーク・グループワークを通して－
	189	糸満市立 糸満中学校	マエカ サコ 前川 菅子	教育相談	生徒との信頼関係を築きやる気を引き出し高める支援の工夫 －「コーチング」の傾聴と質問スキルの活用を通して－
平成20年度前期 研究報告書第28号	190	南城市立 佐敷幼稚園	ヒガシノナ チカ 東恩納 智賀子	幼稚園教育	遊びを深めて楽しめるような援助の工夫 －植物との関わりを遊びに取り入れていくことを通して－
	191	南風原町立 北丘小学校	キンジョウ モモ 金城 百枝	小学校 国語	想像を広げる読みの力を育てる学習指導の工夫 －書く活動と発表し合う活動を活かして－
	192	南城市立 船越小学校	マエカ シンヤ 前川 真哉	小学校 算数	既習学習を活用する力を育てる指導の工夫 －相互交流と確認問題を取り入れた授業実践を通して－
	193	南風原町立 南風原小学校	アラキ ヨウコ 新垣 涼子	小学校 英語	小学校英語活動指導案の作成 －体験的なコミュニケーションを取り入れて－
	194	糸満市立 糸満中学校	ナカヤマ ヒロミ 中山 宏美	小学校 社会	授業に参加する意識を高め、基礎・基本の定着を図る指導の工夫 －社会科自学ノートと基礎プリントの活用を通して－
平成20年度後期 研究報告書第29号	195	八重瀬町立 東風平小学校	ミヤト マヨ 宮里 雅代	小学校 図画工作	感じたことを自分らしく絵に表す喜びを味わわせる指導の工夫 －学習カードの活用と個に応じた指導を通して－
	196	豊見城市立 とよみ小学校	オシロ ヒミ 大城 仁美	小学校 道徳	道徳の時間の指導の充実 －資料の提示と発問の工夫を通して－
	197	南城市立 佐敷小学校	ヨハ ナコ 與那覇 紀子	小学校 英語	小学校英語活動指導案の作成 －関わりを大切にコミュニケーション活動を取り入れて－
	198	南城市立 佐敷中学校	キンジョウ 兵四郎 金城 兵四郎	中学校 理科	愉しく意欲的に取り組む理科の学習を目指して －科学の有用性を実感できる教材・教具づくりと活用を通して－
平成21年度前期 研究報告書第30号	199	南城市立 船越小学校	オオタ ケミ 大田 恵	小学校 国語	話す能力、聞く能力を育てる指導の工夫 －スピーチの系統的指導プランの作成と活用を通して－
	200	糸満市立 糸満南小学校	オノキ ヨコ 奥崎 優子	小学校 国語	言葉の力を高めるための学習指導の工夫 －言葉遊びを取り入れた授業を通して－
	201	南風原町立 南星中学校	カサ テツヤ 賀数 哲也	総合的な 学習	食を大切にする心情を育てる取り組み －総合的な学習の時間を中心とした4つの実践を通して－
平成21年度後期 研究報告書第31号	202	糸満市立 西崎幼稚園	シガキ マキ 新垣 麻紀	幼稚園教育	幼児が主体的に活動できる環境の工夫 －表現活動を通して－
	203	南風原町立 北丘小学校	アケ シヨ 天久 三千代	小学校 算数	活動の楽しさを味わう学習指導の工夫 －ふきだし法の実践を通して－
	204	南風原町立 南風原中学校	サヤマ イミ 崎山 泉	中学校 国語	興味関心を持たせるための教材の工夫 －古典「奥の細道」のデジタル化を通して－
	205	糸満市立 西崎中学校	イ ナツキ 伊波 奈月	中学校 理科	基礎的・基本的な知識を習得させるための授業の工夫 －教材・教具の作成・活用を通して－
平成22年度前期 研究報告書第32号	206	南城市立 馬天小学校	アシキ マヨ 網敷 藤代	小学校 国語	主体的に読む力を育てる指導の工夫 －一人学びを取り入れた学習を通して－
	207	南城市立 大里北小学校	テルキナ マコ 照喜名 真理子	小学校 道徳	価値の内面化を図る道徳授業の工夫 －読み物資料の効果的活用を通して－
	208	南風原町立 南星中学校	オシロ マサ 大城 正篤	学年経営	生徒一人ひとりの良さや可能性を活かす学年経営 －アンケート調査と実践事例を通して－
平成22年度後期 研究報告書第33号	209	南風原町立 津嘉山幼稚園	マツト サコ 松本 完子	幼稚園教育	人とかかわる力をはぐくむための援助のあり方 －園生活の遊びを通して－
	210	糸満市立 糸満小学校	キンジョウ ユウコ 金城 裕子	小学校 国語	確かな読みの力を育てる指導の工夫 －説明的な文章の学習を通して－
	211	南城市立 大里南小学校	オシロ リマサ 大城 憲政	小学校 社会	社会科の学び方を育てる指導の工夫 －地域探検学習を通して－
	212	与那原町立 与那原中学校	ヨシモト ヤスオ 吉元 康王	中学校 数学	学ぶ意欲を高めるための教材の工夫 －図形学習のデジタル教材の作成を通して
平成23年度前期 研究報告書第34号	213	豊見城市立 伊良波幼稚園	ヒガ ヨコ 比嘉 裕子	幼稚園教育	聞く・話す楽しさを感じるための援助の工夫 －友達と一緒に遊ぶことを通して－
	214	糸満市立 高嶺幼稚園	オキ マコ 与儀 久美子	幼稚園教育	幼児が友達のように気づき、かかわって遊ぶ楽しさを味わうための環境や援助の工夫 －協同的な遊びを通して－
	215	南城市立 玉城幼稚園	シロマ マユミ 城間 真由美	幼稚園教育	好奇心や探究心を育む環境構成と援助の工夫 －身近な自然素材を生かした遊びを通して－
	216	与那原町立 与那原東幼稚園	カバタ リカ 川端 和歌子	幼稚園教育	友達と一緒に遊びを進める喜びや楽しさを味わうための援助の工夫 －幼児の主体性を生かした集会を通して－
	217	南城市立 知念小学校	ツチヤ セイコ 土屋 勢子	小学校 国語	自分の思いや考えを論理的に表現する子の育成 －「話すこと・聞くこと」の領域における表現スキルを育てる授業作りを通して－
	218	与那原町立 与那原小学校	シタ モトコ 城田 モト子	小学校 国語	児童一人一人の言葉の力を育むための指導の工夫 －「話すこと・聞くこと」におけるワークショップ型の授業展開を通して－

	219	南風原町立北丘小学校	マエ ノブシ 前 信司	小学校算数	数学的な「思考力・判断力」を育てる工夫 －学び合い」の場の活性化を通して－
平成23年度後期 研究報告書第35号	220	豊見城市立座安幼稚園	タイラ トモコ 平良 智子	幼稚園教育	伝え合うことの楽しさを味わわせる環境構成と 援助の工夫 ー様々な体験活動を通して－
	221	豊見城市立とよみ幼稚園	ナカモト カコ 中本 勝子	幼稚園教育	食べる喜びや楽しさを味わうための援助の工夫 －身近な野菜の栽培活動を通して－
	222	八重瀬町立白川幼稚園	カサハト マリコ 神里 真利子	幼稚園教育	一人一人のよさを生かした協同して遊ぶようになるための環境構成と援助の工夫 －共通の目的に向かって一緒に遊ぶことを通して－
	223	南風原町立北丘幼稚園	トウバル チカコ 桃原 真子	幼稚園教育	表現する喜びを味わわせるための環境や援助の工夫 －友達と一緒に創る表現遊び－
	224	南城市立馬天小学校	イグチ ケンジ 井口 憲治	小学校算数	算数科における基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る指導の工夫 －「教えて考えさせる授業」を取り入れた一単位時間における授業展開の工夫を通して－
	225	南城市立大里北小学校	オノキ エコ 尾崎 優子	小学校国語	自分の思いや考えを論理的に表現できる学習指導の工夫 －書く活動と交流を取り入れた学級新聞作りを通して－
平成24年度前期 研究報告書第36号	226	南城市立佐敷中学校	オシロ オフミ 大城 喜史	技術家庭科	興味・関心を高める栽培実習における学習指導の工夫 －コンテナガーデン作成実習を通して－
	227	糸満市立糸満南幼稚園	オシロ シカ 大城 美加子	幼稚園教育	先生や友達とたのしく食べるための環境構成や援助の工夫 －身近な野菜の栽培活動を通して－
	228	糸満市立兼城小学校	スガワリ ヨシコ 砂川 由美子	動活別特	集団の一員としてよりよい生活を築こうとする態度を育成する指導の工夫 －言語活動の充実を図るワークシートの工夫を通して－
平成24年度後期 研究報告書第37号	229	八重瀬町立東風平中学校	カサハト リュウジ 神里 竜司	中学校英語	コミュニケーション能力の基礎を養う英語学習指導の工夫 －効果的な語彙指導を通して－
	230	八重瀬町立東風平幼稚園	ツカ リエコ 津波 利恵子	幼稚園教育	幼児が自己を発揮し、共通の目的を見つけて遊ぶ楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫 －友達と一緒に遊ぶことを通して－
	231	豊見城市立豊崎小学校	アラキ エコ 新垣 江利子	小学校国語	読む力を生かして言語活用力を高める学習指導の工夫 －説明的な分掌の学習を通して－
	232	糸満市立糸満南小学校	キンゾウ カミ 金城 和美	小学校道徳	思いやりの心を育む道徳教育 －思いやり育成プログラムを通して－
	233	南城市立船越小学校	シマブクロ トモコ 島袋 朋子	特別活動	よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度の育成 －教師のファンリティブな関わりに関する係活動の活性化を通して－
	234	糸満市立兼城中学校	シマツツ タカシ 島筒 格	中学校美術	児童生徒の図画工作・美術への興味・関心・意欲を高める手立てを探る －図画工作と美術の作品の相互鑑賞を通して－
平成25年度前期 研究報告書第38号	235	糸満市立西崎幼稚園	ウエハラ ヤヨイ 上原 弥生	幼稚園教育	人と関わる力を育てるための環境構成と援助の工夫 －仲間とかかわり群れて遊ぶ姿を通して－
	236	豊見城市立とよみ幼稚園	トウマ フサエ 當眞 房江	幼稚園教育	イメージしたことを表現する楽しさを味わわせるための環境構成と援助の工夫 －幼児が自ら作ろうと思うきっかけを探ることから－
	237	糸満市立真壁小学校	ミヤギ サネ 宮城 実子	小学校国語	読解力を育てる説明文の学習指導の工夫 －考えを交流させる場の設定を通して－
	238	豊見城市立豊見城小学校	キンゾウ エキコ 金城 由紀子	小学校算数	数学的に考える力や表現する力を伸ばす学習指導の工夫 －図形を見る視点を身に付けさせる活動を通して－
	239	豊見城市立伊良波中学校	ハヘルマ ナギキ 波照間 永樹	中学校英語	小学校外国語活動から中学校英語への段階的連結の工夫について －コミュニケーションを重視した文法指導の試み－
	235	渡嘉敷村立渡嘉敷幼稚園	ガキヤ ナミ 我喜屋 なおみ	幼稚園教育	幼児の遊びの発展や充実を図るための幼保小連携 －渡嘉敷島のよさをいかした交流活動を通して－
	平成25年度後期 研究報告書第39号	241	南城市立大里北幼稚園	ナカモト ルミコ 仲本 留美子	幼稚園教育
242		八重瀬町立東風平幼稚園	ナカムラ サユリ 仲村 小百合	幼稚園教育	友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫 －互いのよさに気づき認め合える仲間づくりを通して－
243		糸満市立兼城小学校	ヨナ ヨウコ 饒平名 陽子	小学校国語	伝え合う力を高める学習指導の工夫 －説明的な文章における単元を貫く活動を通して－
244		南城市立知念中学校	ホカマ マキノ 外間 牧乃	中学校国語	伝えあう力を高める国語科学習の工夫 －地域の歌碑「手水の縁」の教材化を通して－
245		八重瀬町立具志瀬中学校	タケノハ ナルミ 垣花 奈留美	中学校英語	思考力・判断力・表現力を育てる学習指導の工夫 －「書く」ことを中心とした言語活動を通して－
平成26年度前期 研究報告書第40号		246	与那原町立与那原東幼稚園	キンゾウ ムツコ 金城 睦子	幼稚園教育
	247	糸満市立潮平小学校	ウエハラ カオリ 上原 馨	小学校国語	読解力を育てる学習指導の工夫 －説明的な文章の学習における単元を貫く言語活動を通して－
	248	豊見城市立上田小学校	シメジ コスエ 下地 こず恵	小学校国語	思いや考えを表現する力を育てる授業づくり －読み手に伝わる作文指導を通して－
	249	糸満市立兼城小学校	ナカジョウ マサブ 仲門 学	小学校算数	数学的な思考力・表現力を育てる学習指導 －「数量関係」における批判的に読み取る課題の設定を通して－
	250	豊見城市立長嶺中学校	ヨコタ ジュンコ 横田 純子	特別活動	望ましい人間関係を形成する学級活動の指導の工夫 －学級の一員として主体的に実践 する生徒の活動を通して－
平成26年度後期 研究報告書第41号	251	糸満市立糸満南幼稚園	イシノ アユミ 稲嶺 あゆみ	幼稚園教育	幼児が表現する楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫 －つくったり、かいたりする造形遊びを通して－
	252	糸満市立米須小学校	アサナ コリ 安座名 有里	小学校道徳	道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深める道徳授業の工夫 －よりよいものを見方や考え方を見出す話し合い活動を通して－
	253	南城市立大里南小学校	セリキヤク カキ 勢理客 貴之	小学校体育	運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる学習指導の工夫 －基本的な動きづくりとステージ型の学習過程を取り入れた「幅跳び」を通して－
	254	南風原町立津嘉山小学校	ヒカ トシオ 比嘉 俊雄	小学校算数	数学的な思考力・表現力を高める学習指導の工夫 －「小数のかけ算」における説明する活動を通して－
	255	南城市立大里中学校	コジヤ エコ 古謝 栄子	中学校英語	自己表現力の基礎を育む学習指導の工夫 －自分との関わりで段階的にまとまりのある英文を書くことの指導を通して－

平成27年度前期 研究報告書第42号	256	糸満市立 糸満南幼稚園	キンゾウ サクラ 金城 さくら	幼稚園教育	幼児が友達と共に遊ぶ楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫 ー 触れ合い、かかわる集団遊びを通してー
	257	糸満市立 真壁小学校	オシロ アツシ 大城 厚	小学校 算数	図形領域における基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る指導方法の工夫 ー 操作、比較・観察の学習活動を通してー
	258	糸満市立 潮平小学校	ナガト テルノ 長門 照乃	小学校 道徳	多様な考えに触れ、思考を深める道徳授業づくり ー 授業のねらいに迫る発問の工夫ー
	259	南城市立 大里南小学校	ゲシケン トモミ 具志堅 智美	小学校 体育	運動に親しむ資質や能力を育む学習指導の工夫 ー 運動の基礎技能づくりを取り入れた「ゴール型ゲーム」の授業を通してー
	260	南風原町立 南星中学校	フルヤ セイイチ 古屋 誠一	中学校 数学	生徒が主体的に学習する態度を育てる指導の工夫 ー 生徒の「問い」を活かした問題解決の授業を通してー
平成27年度後期 研究報告書第43号	261	南風原町立 北丘幼稚園	ケニヨシ アヤ 国吉 亜矢	幼稚園教育	幼児が協同して遊ぶようになるための環境構成と援助の工夫 ー 思いを伝え合い友達とかかわる遊びを通してー
	262	豊見城市立 長嶺小学校	ヒガ トコ 比嘉 頼子	小学校 道徳	児童が主体的に取り組み、自らの考えを深める道徳授業づくり ー 心の響く教材の開発・活用と意見交流の場の設定を通してー
	263	与那原町立 与那原東小学校	クダカ ヨウヤ 久高 友弥	小学校 国語	自分の考えを広げたり、深めたりする学習指導の工夫 ー 「読むこと」における単元を貫く言語活動を通してー
	264	八重瀬町立 東風平小学校	フナコシ ヨキ 富名腰 由紀	小学校 算数	数学的な思考力・表現力をはぐくむ指導の工夫 ー 互いの考えを伝え合う協働的な学習活動を通してー
	265	南城市立 大里中学校	ハヘルマ セイコ 波照間 生子	小学校 理科	科学的な思考力・表現力を高める指導方法の工夫 ー 教材・教具を活かした問題解決学習を通してー
平成28年度前期 研究報告書第44号	266	糸満市立 兼城小学校	ウエハラ ヲサシ 上原 司	小学校 体育	児童一人一人が運動に親しむ学習指導の工夫 ー ゴール型ゲームに階層的な教材を活用した指導の工夫を通してー
	267	南城市立 佐敷小学校	クボタ リキヤ 久保田 力也	小学校 道徳	自他の考えの違いやよさに気づき、自らの考えを深める授業づくり ー 思考を深める発問の工夫と対比的・構造的な板書の工夫を通してー
	268	八重瀬町立 白川小学校	ヤマシロ マヨシ 山城 昌義	小学校 国語	児童が主体的に読む力を育むための指導の工夫 ー 説明的な文章における学び合いの工夫を通してー
	269	糸満市立 西崎中学校	シモジ ヒデアキ 下地 秀隆	中学校 体育	生徒が主体的に運動に親しむ態度を育む指導方法の工夫 ー 「知識構成型ジグソー法」を取り入れた空間を活用したバスケットボールの授業を通してー
平成28年度後期 研究報告書第45号	270	八重瀬町立 東風平幼稚園	モトブ ヨウコ 本部 笑子	幼稚園教育	幼児同士が共通の目的を見出して遊ぶようになるための環境構成と援助の工夫 ー 思いやイメージを伝え合いながら遊ぶことを通してー
	271	渡嘉敷村立 渡嘉敷幼稚園	サキハマ ヲコ 崎濱 貴子	幼稚園教育	幼児が食べる喜びや楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫 ー 身近な食べ物への興味や関心を高めることを通してー
	272	南城市立 佐敷小学校	ゲシケン ナトシ 具志堅 惣敏	小学校 外国語	児童一人一人が積極的にコミュニケーションを楽しむ指導の工夫 ー プロジェクト型外国語活動を通してー
	273	南風原町立 翔南小学校	ミヤギ ダンシ 宮城 団志	小学校 算数	問いをもち、主体的に課題を解決していく児童の育成 ー 問題提示の工夫とふさだしを用いた思考の可視化を通してー
	274	糸満市立 潮平小学校	シナト アズミ 新里 明日美	小学校 国語	児童が主体的に読みを深める学習指導の工夫 ー 物語文教材における一人学びや学び合いを取り入れた言語活動の充実を通してー
平成28年度前期 研究報告書第46号	275	糸満市立 潮平中学校	シガキ ミツミ 新垣 光史	中学校 社会	生徒一人一人が主体的に学ぶための学習指導の工夫 ー 思考ツールを用いた学び合い学習を通してー
	276	糸満市立 西崎幼稚園	ヤマザト ヨウコ 山里 章子	幼稚園教育	幼児が表現し、つながる楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫 ー こころの触れ合うわらべうたや手遊びうたを通してー
	277	与那原町立 与那原東小学校	イレイ トコ 伊禮 哉子	小学校 算数	一人一人が見通しをもち、主体的に学ぶ学習指導の工夫 ー 思考ツールを用いた数学的活動を通してー
	278	八重瀬町立 具志頭小学校	アカ マサヒ 阿嘉 将史	小学校 国語	児童が主体的に読みを深める学習指導の工夫 ー 物語文における指導と評価の工夫を通してー
	279	南風原町立 北丘小学校	オハマ タツヤ 大浜 辰也	小学校 理科	問いをもち、主体的に学びを深める協働学習の工夫 ー 実感を伴った問題解決学習を通してー
	280	八重瀬町立 東風平中学校	ヤマタ リョウコ 山田 涼子	中学校 数学	数学的な見方・考え方を育む指導の工夫 ー オープンアプローチによる学びを取り入れた数学的活動を通してー
平成29年度後期 研究報告書第47号	281	南風原町立 南風原幼稚園	カスミ ヨウコ 嘉数 正悟	幼稚園教育	幼児が表現する楽しさを味わい主体的に活動するための環境構成と援助の工夫 ー いろいろな素材を使った製作活動を通してー
	282	豊見城市立 豊見城小学校	ワタナベ マサキ 渡邊 昌幸	小学校 道徳	生きて働く道徳的資質・能力を育てる道徳教育の研究 ー 「考え、議論する道徳授業」と道徳的環境づくりを通してー
	283	糸満市立 米須小学校	ノハラ トモカズ 野原 友和	小学校 体育	自ら運動に親しむ児童を育てる協働学習 ー 体づくり運動における場の工夫や課題解決の場面を通してー
	284	八重瀬町立 白川小学校	オシロ ナミエ 大城 奈美江	小学校 国語	児童が主体的に読みを深める学習指導の工夫 ー 説明的な文章における書く活動と対話的活動を通してー
	285	南風原町立 南風原中学校	アハコシ タミコ 阿波根 民子	中学校 英語	生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行う学習指導 ー やり取りのある場面設定の工夫と段階的指導を通してー
平成30年度前期 研究報告書第48号	286	豊見城市立 豊崎小学校	ヒラタ ツトム 平田 務	小学校 理科	主体的に課題を解決しようとする児童を育む指導の工夫 ー 根拠のある予想や仮説を基盤とする「原体験を基盤とする理科学習モデル」を取り入れた授業を通してー
	287	糸満市立 光洋小学校	カスミ タケイロウ 賀数 武一郎	小学校 特別活動	自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を育む指導の工夫 ー 学級活動(3)におけるキャリアパスポートを活用した学習を通してー
	288	与那原町立 与那原小学校	キンゾウ ユリカ 金城 由利佳	小学校 国語	児童に論理的思考力を育む学習指導の工夫 ー 物語教材を論理的に読むための言語活動の充実を通してー
	289	豊見城市立 豊見城中学校	ナカムラ イノ 仲村 姫園	中学校 英語	生徒のコミュニケーション能力を育むための学習指導 ー 知識・技能の活用を図るための「目的や場面、状況などを明確にした『やり取り』」の工夫を通してー
平成30年度後期 研究報告書第49号	290	与那原町立 与那原東小学校	ナカモト ミキ 仲本 美由紀	小学校 国語	説明的な文章を「正確に理解」する資質・能力の育成 ー 「情報の扱い方」を関連させた「読むこと」の指導を通してー
	291	南風原町立 津嘉山小学校	カサト タケヒコ 神里 岳彦	小学校 外国語	主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育む学習指導 ー 「CAN-DOリスト」(試案)を活用した単元構成とSmall Talkの工夫を通してー
	292	糸満市立 糸満中学校	ミヤヒラ ケイイロウ 宮平 圭一郎	中学校 国語	伝え合う力を育む「スピーチ」単元の学習指導 ー 話し技術の観点を明確にした学習活動と「PSシート」の作成・活用を通してー

	293	糸満市立 兼城中学校	カミネ ユコ 長嶺 裕子	中学校 英語	主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育む指導 -既習の知識・技能を活用して即興で話すことの言語活動の工夫を通して-
令和元年度 平成31年度前期 研究報告書第50号	294	豊見城市立 上田小学校	ミヤギ ケン 宮城 健太	小学校 国語	すべての児童が自分の思いや考えをもつための指導の工夫 国語科の「読むこと」の領域における問いを生起する問の工夫を通して-
	295	八重瀬町立 白川小学校	ナカダ カリ ヲサ 仲村 渠 司	小学校 算数	算数科における思考力・判断力・表現力等の育成 -図形単元における数学的な見方・考え方を働かせたび合ひのある授業づくりを通して-
	296	南風原町立 津嘉山小学校	タハラ エツコ 棚原 悦子	小学校 国語	言葉に着目し、具体的に想像する力を育む授業づくり 「内容の見える化」と「論理の見える化」を基にした言葉への自覚を高める言語活動と板書の工夫を通して-
	297	糸満市立 糸満中学校	アハシ ミホ 阿波連 美奈子	中学校 英語	英語で思いや考えを伝え合う力を育成するための学習指導 -即興で「やり取り」する言語活動の工夫を通して-
令和元年度後期 研究報告書第51号	298	南風原町立 南風原幼稚園	ナカヤマ カ 永山 知佳	幼児教育	友達と協同して遊ぶ幼児を育む -協同性が育まれていく過程における見通しや振り返りの工夫を通して-
	299	豊見城市立 豊崎小学校	テカン ヒロコ 天願 博子	教育相談	よりよい人間関係を築く力を育成する支援の在り方 -自己肯定感を高めるための「開発的カウンセリング」を通して-
	300	糸満市立 光洋小学校	スカヌマ ハツエ 菅沼 八重	小学校 国語	自らの学びを自覚し、実感する国語科の授業づくり -「読むこと」における「自己説明」を取り入れた学習活動の工夫を通して-
	301	与那原町立 与那原東小学校	ベントナ ヲシ 辺土名 剛	小学校 算数	自分の考えを数学的に表現する子どもの育成 -数学的に表現し伝え合う活動を通じた授業づくりの工夫-
令和2年度前期 研究報告書第52号	302	糸満市立 潮平中学校	アラキ ノブム 新垣 望	中学校 英語	英語で自分の考えや気持ちを伝え合う力を育成する学習指導 -既習事項を活用し、即興で「やり取り」する言語活動を通して-
	303	与那原町立 与那原小学校	ノハラ タイチ 野原 太一	小学校 算数	数学的な見方・考え方を働かせ、主体的な学びを実現する授業づくり -ファシリテーターとしての教師の工夫を通して-
	304	豊見城市立 伊良波中学校	ナカサ ナオ 仲座 奈穂	中学校 食育	生涯にわたって健康に生きるための基礎を培う食育の工夫 -栄養教諭との連携を通して-
	305	糸満市立 糸満中学校	ヒサヤマ チエコ 久山 智恵子	中学校 英語	「思考力・判断力・表現力等」を育む「読むこと」「書くこと」の指導の工夫 -単元を通じた技能統合的な言語活動を通して-
令和2年度後期 研究報告書第53号	306	八重瀬町立 東風平中学校	イシキ ナオエ 伊敷 直恵	中学校 国語	目的意識を持ち主体的に学びに向かう生徒を育成する国語科の学習指導 -「生徒と創り上げる学びのプロセス」を工夫した「書くこと」の授業を通して-
	307	南城市立 佐敷小学校	マクソンバ シノリコ 真玉橋 教子	小学校 道徳	児童が主体的に取り組み、考えを深める道徳科の授業づくり -発問の構成と問い返しの工夫を通して-
	308	南風原町立 北丘小学校	シロマ マキ 城間 麻喜	小学校 算数	数学のよさに気づき、よりよく問題解決する児童を育む授業づくり -第3学年「分数」における児童の思考をつなぐ問い返しの工夫を通して-
	309	糸満市立 潮平中学校	ヒラタ スズカ 平田 すずか	中学校 国語	論理的思考力を育み、表現する国語科の授業づくり -SDGsの視点と三角ロジックを活用した「書くこと」の指導を通して-
令和3年度前期 研究報告書第54号	310	南風原町立 南風原中学校	オオシロ マキコ 大城 真紀子	中学校 道徳	道徳的価値の自覚を深める「考え、議論する」授業づくり -単元型学習としての教材パッケージ化とOPPAの活用を通して-
	311	豊見城市立 上田小学校	トウハル ツヨシ 桃原 健	小学校 プログラミング	筋道を立てて考え、論理的思考力を高める児童の育成 -第5学年算数科「合同な図形」におけるプログラミングの活用を通して-
	312	南城市立 馬天小学校	オシロ コスエ 大城 こずえ	小学校 国語	伝え合う力を高めるための国語科の授業づくり -「話すこと・聞くこと」の単元における、対話スキルを取り入れた指導の工夫-
	313	糸満市立 三和中学校	トウマ サオリ 當 間 沙織	中学校 国語	「正確に理解する資質・能力」を育む「読むこと」の指導 -説明的な文章を「図式化」する学習活動を通して-
令和3年度後期 研究報告書第55号	314	豊見城市立 上田小学校	ミヤギ ジュンヤ 宮城 俊文	小学校 国語	自分の考えを広げ深める児童の育成 -国語科の説明的な文章における「対話的な学び」を通して-
	315	豊見城市立 伊良波小学校	ミネイ イクマ 嶺 井 育馬	小学校 ICT	主体的な「問い」と自分なりの考えを持ち対話を通して学びを深める児童の育成 -第5学年社会科「自然災害とともに生きる」の学習過程におけるICTの効果的な活用を通して-
	316	糸満市立 西崎小学校	トクダ ヤスヒコ 徳田 安彦	生徒指導 教育相談	自己受容を育み自己肯定感を高める児童の育成 -生徒指導の3つの機能を生かした授業づくりと振り返る学びを通して-
	317	南城市立 知念中学校	アラキ マコト 新垣 誠	中学校 数学	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、主体的に学ぶ生徒の育成 -「発問」や「振り返り」の工夫を通して-
令和4年度前期 研究報告書第56号	318	南風原町立 南風原中学校	マエオ エリ 前大 えり	中学校 SDGs	「持続可能な社会の実現」を目指して学び続ける生徒の育成 -SDGs達成を目指すESDの視点を取り入れた英語科の単元「ザル」を通して-
	319	南城市立 大里南幼稚園	ミヤギ ユキノ 宮城 由季乃	幼児教育	幼児が遊び込むための環境の構成と援助の工夫 -ドキュメンテーションの共同作成を通して-
	320	豊見城市立 伊良波小学校	トクムラ スカノ 徳村 清乃	小学校 道徳	多面的・多角的に考え、思いやりの心を育てる道徳の授業づくり -思考ツールの活用と交流場面の工夫を通して-
	321	糸満市立 糸満小学校	オオシロ シュンキ 大城 潤喜	小学校 ICT	思考力、判断力、表現力を育む体育科における指導の工夫 -スタディ・ログを利活用したマットを使った運動遊びを通して-
令和4年度後期 研究報告書第57号	322	糸満市立 喜屋武小学校	ナカダ タイチ 仲田 大地	小学校 社会	「思考力・判断力・表現力」を育む社会科学習の工夫 -ICTを効果的に利活用した学び合いを通して-
	323	南城市立 玉城中学校	シンジョウ ナナコ 新城 菜々子	中学校 SDGs	音楽文化を創造する生徒の育成 -音楽鑑賞とESD for SDGs-
	324	豊見城市立 豊見城小学校	ミヤザト リカ 宮里 のりか	小学校 特別活動	自己有用感を持つ児童の育成 -特別活動における係活動の工夫を通して-
	325	与那原町立 与那原小学校	キンジョウ アイリ 金城 愛梨	小学校 保幼小連携	安心・成長・自立につながるスタートカリキュラムの工夫 -幼児期の学びや生活を踏まえた生活科の実践を通して-
令和5年度前期 研究報告書第58号	326	南風原町立 南風原小学校	マツモラ ソノブ 松茂 良忍	小学校 算数	算数科の学びに向かう児童の育成 -第5学年「図形の面積」における「問い」を引き出す指導の工夫を通して-
	327	南風原町立 南風原中学校	ナカマ タイスケ 仲間 大輔	中学校 社会	歴史的現象の課題を追究し、主体的・文脈的な学びを生徒の育成 -見方・考え方を働かせる「問い」の活用を通して-
	328	糸満市立 高嶺小学校	ムロネ ヒロナ 室根 広菜	小学校 生徒指導	ポジティブな生徒指導を核とした児童の自己指導能力の育成 -自己実現の喜びを味わわせる特別活動の生徒指導及び授業実践を

	329	南風原町立 南風原小学校	トウメ ハルナ 當 銘 春 菜	小学校 特別支援 教育	通して- 自ら学びの方法を選択し、意欲的に学びに向かう児童の育成 -学びのユニバーサルデザイン（UDL）を 取り入れた算数科の授業を通して-
令和5年度後期 研究報告書第59号	330	糸満市立 高嶺小学校	オキダ アリサ 沖田 亜梨沙	小学校 国語	文章を理解したことに基づいて自分の 思いや考えをもち表現する児童の育成 -国語科文学的な文章における個別最適で協働的な学びを通して-
	331	八重瀬町立 東風平小学校	コクホ アキノ 小久保 亜樹 乃	小学校 道徳	授業者の授業観の転換による主体的・対 話的な「学びのある」道徳科授業作り -発問とファシリテーションの工夫を通して-
令和6年度前期 研究報告書第60号	332	糸満市立 喜屋武こども園	カワムラ チアキ 川村 千秋	幼児教育	楽しさが広がり夢中になって遊ぶ園児育む -協同性を育む共主体の保育を通して-
	333	豊見城市立 上田小学校	アカミネ ヒデアキ 赤嶺 英幸	小学校 SDGs	持続可能な社会づくりを担う児童の育成 -ESDの視点で考える社会科学習指導の工夫を を通して-
	334	豊見城市立 伊良波小学校	オオシロ リュウジ 大城 竜二	小学校 体育	全ての児童が運動の楽しさと喜びを感じられる体育学習 -運動有能感が高まるボールゲームの授業づくりを を通して-
令和6年度後期 研究報告書第61号	335	糸満市立 真壁こども園	コガメ メグミ 呉 我 恵	幼児教育	多様な子どもたちが仲間とつながり共に楽しむ園生活 -一人一人が安心し、自己発揮して遊ぶ環境の工夫-
	336	八重瀬町立 東風平小学校	ナカサキ アキラ 仲 座 旦	特別活動	議題と向き合い、お互いを尊重し合う児童の育成 -児童が主体的に話し合いに参画できる工夫と教師 の適切なフィードバックを通して-
	337	南城市立 知念中学校	ミヤギ サヤカ 宮 城 清 香	中学校 道徳	生徒が道徳的価値を自分ごととして捉え、考える ことのできる授業づくり -生徒の思考を促す発問の工夫-

2 特別教育研究員（1年）

年度	番号	学校名	氏名	研究領域	研究テーマ
平成8年 平成9年	特研1		ヤマシロ ナオツウ 山城 直三	教育相談	
平成10年 平成11年	特研2		ウエハラ ヨシヒロ 上原 義弘	教育相談	
平成12年 平成13年	特研3		ウンテン ヒデアキ 運天 秀紀	教育相談	心因性不登校児童生徒の自立をめざした適応指導 の在り方
平成14年 平成15年	特研4		シロタ ヨシカツ 城田 由勝	教育相談	心因性不登校児童生徒の自立をめざした適応指導
平成16年 平成17年	特研5		オオシロ ナオキ 大城 直樹	教育相談	心因性不登校児童生徒の自立をめざした適応指導
平成18年 平成20年	特研6		グシケン モトマル 具志堅 源春	教育相談	
平成21年	特研7		サキハマ ヒデアキ 崎濱 秀昭	教育相談	
平成22年	特研8		ヒガ マサキ 比嘉 正樹	教育相談	
平成23年	特研9		ミヤギ チエミ 宮城 千枝美	教育相談	
平成24年	特研10		タマキ サトコ 玉城 智子	教育相談	
平成25年	特研11		トグチ ナホ 渡口 尚子	教育相談	
平成26年	特研12	豊見城市立 伊良波中学校	マエガリ スガコ 前川 菅子	教育相談	
平成27年	特研13	豊見城市立 豊見城中学校	イハ マスミ 伊波 ますみ	教育相談	学校復帰へ向けたよりよい支援を通して -子ども理解と多様な活動を通して-
平成28年	特研14	南城市立 玉城中学校	フナツキ ヒロミ 船附 洋美	教育相談	様々の課題を抱えた児童生徒への支援方法の工夫- 支援シートを活用したコンサルテーションを通して-
平成29年	特研15	豊見城市立 伊良波中学校	ナカサキ ナオミ 仲里 直美	教育相談	自己肯定感を育むチーム支援のあり方 -ホワイトボードミーティング等を中心とした支援を通して-
平成30年	特研16	南城市立 大里中学校	カワムラ チカ 河村 千佳子	教育相談	不登校児童生徒の社会的自立を目指した支援の工夫 -認知行動療法に基づく個別に合わせた教育相談的アプローチとソーシャルスキルトレーニングを連動 させた取り組みを通して-
平成31年 令和元年	特研17	南城市立 玉城中学校	トウマ ユキ 當真 由紀子	教育相談	不登校児童生徒がよりよく生き抜くための支援の工夫 -自立活動の充実を通して-
令和2年	特研18	豊見城市立 長嶺中学校	アサト トモコ 安里 智子	教育相談	不登校児童生徒がよりよく生き抜くための支援の工夫 -アセスメントを活用した自立活動の充実を図る手立ての工夫-
令和3年	特研19	南城市立 大里中学校	ササキ カナ 佐々木加奈子	教育相談	不登校児童生徒がよりよく生き抜くための支援の工夫 -教育相談の3段階の援助サービスとキャリア教育の視点を取り入れた活動を通して-
令和4年	特研20	南城市立 佐敷中学校	ウエハラ リエ 上原 理恵	教育相談	自己理解力を育み、社会的自立へと向かわせる指導援助の工夫 -支持的風土のある教室経営と体験的活動の充実を通して-
令和5年	特研21	南風原町立 南風原中学校	アラサキ サトコ 新崎 公子	教育相談	適応指導教室「しのめ教室」実践報告
令和6年	特研22	八重瀬町立 東風平中学校	ヒラナカ マキ 平仲 麻紀	教育相談	適応指導教室「しのめ教室」実践報告

こどもサポートルーム しなのめ 経営計画

平成 28 年 12 月公布「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律（以下、「教育機会確保法」という）を踏まえ、「南部広域行政組合島尻教育研究所における不登校児童・生徒の適応指導教室の設置及び運営に関する規則（平成 10 年 4 月 1 日）第 5 条に基づき、令和 7 年度のこどもサポートルーム「しなのめ」の教室経営について、以下の通り計画する。

1 経営の目的

こどもサポートルームしなのめは、原籍校の支援計画のもと、当該児童生徒の状況に応じて、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談、支援を行うことにより、社会的自立に資することを目的とする。

2 支援の方針

- (1) 児童生徒が行う多様な学習活動の実情を踏まえ、個々の当該児童生徒の状況に応じた必要な支援を行い、当該児童生徒にとって安心できる場とする。
- (2) 個々の児童生徒の休養の必要性を踏まえ、当該児童生徒の状況に応じた学習活動が行われることとなるよう、生徒及び保護者に対する必要な情報の提供、助言その他の必要な措置を講ずる。

3 入室対象者

- (1) 島尻地区内小中学校に在籍していること（糸満市、豊見城市、南城市を除く）
- (2) 心理的要因等によって登校できず、社会的自立を促進するため、「しなのめ」での支援が望ましいと判定された児童生徒

4 入室条件

- (1) 【 児童生徒 】 ■本人に「しなのめ」に通室する意志があること。
- (2) 【 保護者 】 ■保護者に児童生徒を「しなのめ」に通室させる意志があること。
■「しなのめ」や関係機関の運営や学校復帰、社会的自立に向けた取り組み等に連携・協力できること。
■保護者による「しなのめ」への送迎と登下校の安全確保が可能であること。
- (3) 【 原籍校 】 ■原籍校の校長により「しなのめ」における支援が望ましいとされた児童生徒であること。
■原籍校または所管する町村教育委員会は、「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」を作成し、支援体制が機能していること。
- (4) 【 教育委員会 】 ■原籍校を所管する町村教育委員会により「しなのめ」における支援が望ましいとされた児童生徒であること。
- (5) 【 しなのめ 】 ■入室申請に係る所定の手続きを踏まえていること。
■「入室判定会議」により、「しなのめ」における支援が望ましいと判定された児童生徒であること。

5 めざす児童生徒像

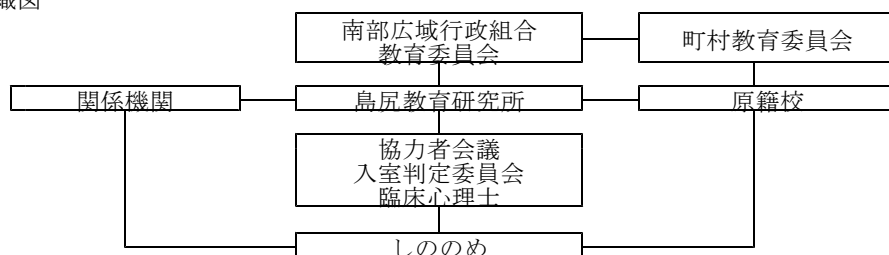
- (1) 主体的に基本的生活習慣を整え、登室のリズムが出来ている児童生徒。
- (2) 自己理解を深め、情緒が安定している児童生徒。
- (3) 目標をもち、主体的に学習活動や体験活動等に取り組んでいる児童生徒。

6 今年度の重点事項

- (1) 児童生徒の状況を把握し、自立心や社会性を育む活動を行う。
- (2) ケース会議や情報交換など、原籍校や町村教育委員会、関係機関との連携を密にする。

7 「しなのめ」の組織

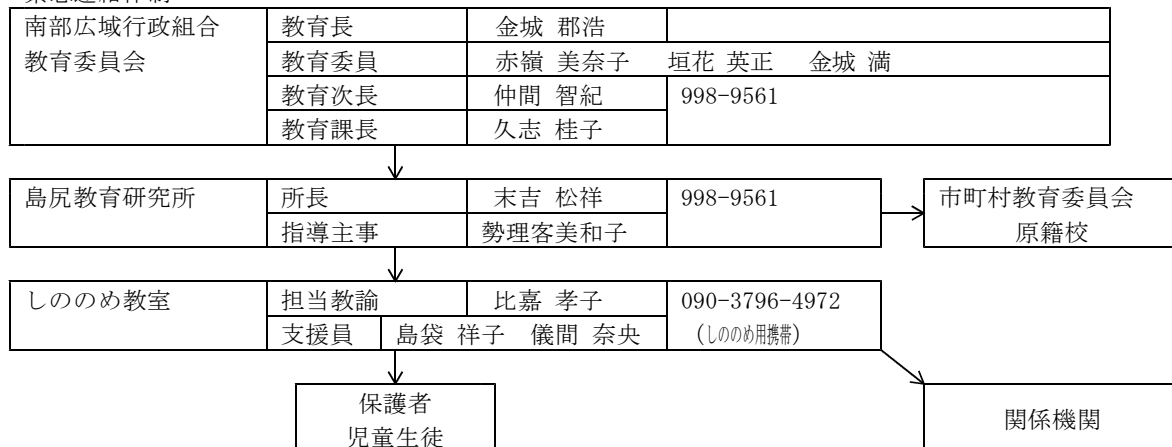
(1) 組織図



(2) 関係職員

こどもサポートルームしののめ（島尻教育研究所）	
教育委員会 教育課長	久志 桂子
所長（主任指導主事）	末吉 松祥
指導主事	勢理客 美和子
幼児教育担当主事	稲嶺 彰子
担当教諭	比嘉 孝子
支援員	島袋 祥子 儀間 奈央
臨床心理士・公認心理師	宮城 元子

(3) 緊急連絡体制



8 経営方針

【経営・運営について】

- (1) 「しののめ」は児童生徒にとって安心できる「居場所」となり、休養の必要性、一人ひとりの学びの多様さに合わせた支援を行う。
- (2) 「しののめ」の運営に当たっては、南部広域行政組合教育委員会、島尻教育研究所、原籍校、保護者、関係市町村教育委員会、臨床心理士、関係機関、専門機関などが互いに協力し連携する。
- (3) 担当教諭及び支援員の勤務については、「働き方改革」関連法の趣旨を踏まえ、業務の内容や量、方法等について、適正に行われるよう努める。
- (4) 担当教諭及び支援員の資質向上のため、適切な研修の機会を確保する。
- (5) 児童生徒の受入数については、施設の状況等を踏まえ、適切な人数を設定する（詳細は16に規定）。
- (6) 教室内外での諸活動に、安心・安全に取り組むよう努める。
- (7) 当該児童生徒、保護者に対して必要な情報を提供する。（「教育機会確保法」休養の必要性、多様な学びの場など）

【児童生徒の生活について】

- (8) 児童生徒を受容し、自己理解を促し情緒の安定、自己肯定感を高めるよう支援する。
- (9) 学習活動、体験活動、教育相談活動など、児童生徒の実態に応じた支援を行う。

【保護者、原籍校、関係機関等との連携について】

- (10) 原籍校は、保護者、しののめ、関係機関との連携を図るため、特に以下のことに努める。
 - ① 当該児童生徒が安心して登校できるように支援体制、環境づくりに努める。
 - ② 当該児童生徒のニーズに合った特別な教育課程を「しののめ」と連携して作成する。
 - ③ 当該児童生徒の健康及び出席状況を日々把握するよう努める。
- (11) 「しののめ」は、保護者との連携を密にし、相互理解を図り関係性を構築する。
- (12) 児童生徒が積極的に交流できるよう、近隣の支援教室との連携を図る。

9 指導援助方針

学校・家庭・関係機関と連携を密にし、協力し合いながら、1に掲げる経営の目的の達成をめざすこととする。

- (1) 児童生徒への対応
 - ① 児童生徒の立場に立ち、人命や人格を尊重した人間味のある温かい相談支援を行う。
 - ② 相談に関しては、共感的な理解に立ちつつ、児童生徒の自立を支援する立場から実施する。
 - ③ 支援内容は、児童生徒の実態に応じて適切に定め、個別支援を基本とし、必要に応じて集団支援を実施するものとする。その際、児童生徒の状況に応じて体験活動を取り入れる。
 - ④ 児童生徒それぞれの発達課題等をふまえ、学校の「個別の教育支援計画」と連動した支援を行う。
 - ⑤ 「教育機会確保法」の定めるところにより、児童生徒に対し、必要な情報を提供する。

- (2) 保護者への対応
- ① 「しのめ」は、当該児童生徒の保護者に対して、不登校の態様に応じた適切な助言等を行う。
 - ② 「しのめ」は、相談活動、適応支援、その他の「しのめ」の状況について、保護者に対して積極的に情報を提供する。
 - ③ 必要に応じて保護者同士の話し合いの場を設け、相互理解が深まるよう努める。
 - ④ 必要に応じて関係機関につなぐなど、保護者支援を行う。
 - ⑤ 「教育機会確保法」の定めるところにより、保護者に対し、必要な情報を提供する。
- (3) 原籍校への対応
- ① 原籍校と「しのめ」が協力し合って特別な教育課程を編成、実施していく。
 - ア 児童生徒の学習の内容、評価について、「個別の教育支援計画」に沿い、児童生徒の学習と評価が適正に行われるよう努める。
 - イ 各教科等の学習指導については、原籍校との調整のもと、児童生徒の実態に応じて適切に実施する。
 - ウ 学習課題物の提示、体験的活動や行事等への参加の声かけなど、学校から随時、児童生徒を学級の一員として働きかきよう促す。
 - エ 必要により家庭訪問による相談活動や適応支援等を行う際は、学校や関係機関との連絡調整の下で行う。
 - ② 担当教諭等は、通室している児童生徒の支援のため、報告や連絡調整、ケース会議の実施など、原籍校と緊密に連携するよう努める。
 - ア 児童生徒の出席や活動の状況について、定期的且つ必要に応じて原籍校と情報交換を行い、共通理解を図り、共通実践する。
 - イ 担当教諭等は、不登校に関し、学校に対する専門的な指導・助言・啓発を行う。
 - ウ 児童生徒の状況に関する情報について、守秘義務に配慮する。
- (4) 関係機関との連携
- ① 南部広域行政組合教育委員会、島尻教育研究所、原籍校、保護者、関係市町村教育委員会、臨床心理士、関係機関、専門機関との連携、協力体制を確立し、児童生徒に対する共通理解のもとで支援を行う。
 - ② 「しのめ」における出席状況を原籍校と関係市町村教育委員会に毎月報告し、情報の共有化を図る。
 - ③ 関係機関、地域及び域内支援教室担当者間の連携を図り、不登校に関する地域ぐるみのサポートネットワークづくりに努める。また、不登校関係の民間施設、NPO法人等との連携・協力を適切に図る。

※ 民間施設との連携については国が示している「民間施設についてのガイドライン（試案）」等に留意するものとする。
 - ④ 関係機関、地域及び域内教育支援センター等担当者間の連携を図り、支援の効果を高める。必要に応じて合同の研修会や講演会、合同体験学習等を開催し、運営の充実に努める。
 - ⑤ 協力者会議を必要に応じて開催し、運営等について助言を得る。
- (5) その他
- 担当教諭等は、児童生徒の進路等においても、必要に応じて在籍校との連携を図り、情報を収集するなどして継続的に支援を行うよう努める。

10 支援の内容

	ねらい	内容
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、保護者のよき理解者として受容的・共感的態度で臨み、情緒の安定と不安の解消を図る。 ・自己理解を深め自分の可能性に気づき、未来に向けて選択肢を広げる。 	日誌相談 定期相談 指導教諭等による相談 臨床心理士による相談等
体験活動	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な体験活動を通して、自立心を高め、協調性、社会性を養い、個別最適な学びを支援する。 	生活体験 交流体験 社会体験 自然体験 学習体験等
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒個々の興味関心や実態に応じて学習計画を立て、個別支援を行い、「確かな学力」を育成する。 	教科書や参考書による学習 タブレットでの学習 プリント学習 グループ学習 学習ボランティアによる学習等
基本的な生活習慣の確立に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的、精神的な健康を保ち、基本的な生活習慣の大切さを認識し、気持ちよく社会に適応していくための実践を支援する。 	生活習慣支援 挨拶支援 美化活動 身なり・食事の改善 対人スキル

11 段階に応じた目標及び児童生徒の達成目標

段階	目標	児童生徒達成目標	主な活動内容
1	○担当者とのラポートを作り、緊張感や抵抗感を軽減する	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者と会うことができる ・担当教諭等と会話ができる ・挨拶ができる ・教室で緊張せずに過ごすことができる ・安定して通室ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談 ・領域 自立活動(コグトレ、卓球、栽培活動、雑談など) ・教科

			・保護者との相談
2	○仲間とのふれあいを通して協調性を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と会話ができる ・集団遊びができる ・仲間と共に活動ができる ・教室で一日を過ごすことができる ・与えられた学習課題に取り組むことができる ・ほとんどの活動に参加することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談 ・領域 <ul style="list-style-type: none"> 自立活動(コグトレ、人生ゲーム、卓球、栽培活動、雑談等) 道徳、特別活動(宿泊学習) ・教科 <ul style="list-style-type: none"> 課題学習、調理実習、交流スポーツ
3	○行動・体験の場を広げ活動の意欲を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで準備や片付け等の仕事ができる ・集団活動を楽しむことができる ・みんなと一緒に活動計画を立てることができる ・言葉を使って自己表現ができる ・他者を理解することができる ・友達と学び合うことができる ・教科や内容を決めて学習に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談 ・領域 <ul style="list-style-type: none"> 自立活動(コグトレ、人生ゲーム、卓球、栽培活動等) 道徳(奉仕活動)、特別活動(施設訪問) 所外活動 ・教科 <ul style="list-style-type: none"> 課題学習、社会見学、交流スポーツ ・保護者との相談
4	○自己肯定感を高め、社会的自立への意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・原籍校の担任と話し合いができる ・原籍校の行事に参加できる ・学校へ部分登校ができる。(チャレンジ登校) ・原籍校で定期テスト等を受験することができる ・学校の話に抵抗を感じなくなる ・自分の進路について考え、話し合うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談 ・領域 <ul style="list-style-type: none"> 自立活動(コグトレ、人生ゲーム、卓球、栽培活動等) 道徳(奉仕活動)、特別活動(施設訪問) 所外活動 ・教科 <ul style="list-style-type: none"> 課題学習、社会見学、交流スポーツ ・総合(高校見学、職場見学) ・体験、現籍校での活動 ・保護者との相談

12 こどもサポートルーム しののめ の運営

児童生徒の状況に応じて、弾力的に運営する。

(1) 開室期間及び開室日時

- ① 開室期間・・・公立小中学校の授業日に準ずる
- ② 開室日時・・・月曜日～金曜日(祝祭日は休業日とする) 8時30分～14時30分
長期休業は学校に準ずる。
- ③ 新規入室受付・・・令和7年4月21日(月)より新規入室の受け付けを開始する。

(2) 週時程

	月	火	水	木	金
8:30～9:00	登校 朝の活動(朝の清掃 植物・農園への散水 熱帯魚への餌やり 日誌記入 コグトレ)				
9:15～9:25	健康観察 今日の目標設定&学習計画				
9:30～10:20	活動①	活動①	活動①	活動①	活動①
10:30～11:20	活動②	活動②	活動②	活動②	活動②
11:30～12:20	活動③	活動③	活動③	活動③	活動③
12:30～13:25	昼食・休憩				
13:30～14:20	活動④	活動④	活動④	活動④	活動④
14:20～14:30	清掃活動 日誌記入 今日の振り返り&明日の目標設定				
14:30～	下校 ※ 下校後のスタッフの活動				
15:00	下校完				
15:30	教室の後片付け				
16:30	支援員の勤務終了				
17:15	担当教諭の勤務終了				

※ 下校後のスタッフの活動

- ・学習成果物の点検・整理
- ・活動記録 ・学習材の準備
- ・保護者、原籍校等との連絡調整
- ・スタッフ会議 ・研修

(3) 主な活動

- 【教科】 基本的に当該学年の教科、特別の教科道徳、それに伴う体験活動
- 【領域等】 特別活動
- 【総合的な学習の時間】 高校見学、職場見学(体験) など

- 【体験活動】 ① スポーツ活動・・・バドミントン 卓球 ウォーキング 縄跳び等
 ② 文化・芸術的・製作的活動・・・掲示物製作 書道教室 シーサー作り 調理実習 等
 ③ 自然体験活動・・・渡嘉敷島いきいきキャンプ 農業体験等
 ④ 社会体験的活動・・・域内・県教育支援センター主催の行事への参加
 ⑤ 勤労奉仕的活動・・・花や野菜の栽培、灌水・手入れ、草刈り等

【教育相談】 定期相談・臨床心理士によるカウンセリング

(4) 令和7年度「しののめ」の主な取り組み

月	児童・生徒の活動等		会議・研修等	島尻教育事務所・沖適連・その他
	しののめの活動	沖教支等合同の活動		
4	・チャレンジ登校		・域内教育支援センター担当者連絡会①	・県教育支援センター担当者連絡会①
5	・農業体験	・域内平和学習	・協力者会議① ※必要に応じて開催	・県教育支援センター担当者連絡会② ・地区教育相談員等連絡会① ・県教育相談員等研修会① ・県教育支援センター連絡協議会 ・総会
6	・調理実習	・合同体育		・県教育支援センター担当者連絡会③ ・県教育相談員等研修会② ・県教育相談員等研修会③
7	・調理実習	・域内食育教室 ・県教育支援センター児童生徒スポーツ交流会	・保護者相談会 ・入室判定委員会	・県教育支援センター担当者連絡会④ ・県教育相談員等研修会④
8			・保護者相談会 ・域内教育支援センター担当者連絡会②	・県教育支援センター担当者連絡会⑤ ・県教育支援センター担当者等研修会① ・地区教育相談員等連絡会②
9		・渡嘉敷島いきいき自然体験キャンプ ・合同体育		・県教育支援センター担当者連絡会⑥ ・県教育相談員等研修会⑤
10	・調理実習	・合同体育 ・域内工作教室		・県適応指導教室担当者連絡会⑦
11		・県教育支援センター児童生徒スポーツ交流会	・入室判定委員会	・教育支援センター担当者連絡会⑧ ・県教育支援センター担当者等研修会② ・地区教育相談員等連絡会③
12	・調理実習	・県教育支援センター児童生徒活動交流会 ・域内グラウンドゴルフ	・保護者相談会	・県教育支援センター担当者連絡会⑨
1		・県教育支援センター展示報告会 ・域内書き初め会 ・合同体育		・県教育支援センター担当者連絡会⑩
2	・しののめ収穫祭	・合同体育	・保護者相談会 ・協力者会議② ※必要に応じて開催 ・入室判定委員会	・県教育支援センター担当者連絡会⑪ ・地区教育相談員等連絡会④
3	・修了セレモニー		・在籍校と次年度にむけた話し合い ・域内教育支援センター担当者連絡会③	・県教育支援センター担当者連絡会⑫

☆ 行政組合関係者、体験教室ボランティア等の協力により、体験活動や授業を行う。

☆ 年間を通して、随時チャレンジ登校を奨励する。

☆ 月2回、しののめにおいて、スタッフ会議を持ち情報交換、支援方針の確認等を行う。

☆ 担当教諭は、カウンセリング講座を受講する。

13 障害補償

日本スポーツ振興センターの災害共済給付契約に加入している児童生徒の場合、在籍学校長からの体験・正式入室申請書を本研究所が受理することで、「しのめ」での活動と行き帰りが学校管理下の扱いとなり、給付の対象となります。

保護者の方は、日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に加入していることをご確認ください。また、原籍校は、児童生徒が日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に加入していることをご確認ください。

14 自然災害等発生時の対応

児童生徒の安全のために下記のような対応をお願いします。

(1) 台風発生時の対応

① 通室前の対応

午前6時の段階で、「大雨警報」、「暴風警報」、台風警報」の各警報あるいは「特別警報」が発令中の場合は臨時休室とします。

② 通室時の対応

活動中に「大雨警報」、「暴風警報」、台風警報」の各警報あるいは「特別警報」が発令された場合は保護者の方が迎えに来てください。すぐに迎えることが難しい場合には、本研究所への連絡をお願いします。

(2) 地震などの警報発令時の対応

① 通室前の対応

在宅時に、島尻地区内で震度4以上の地震が発生した場合は自宅待機とします。

② 通室時の対応

活動中に、島尻地区内で震度4以上の地震が発生した場合は保護者の方が迎えに来てください。すぐに迎えることが難しい場合には、本研究所への連絡をお願いします。

(3) その他

不明な点については、本研究所にご連絡ください。

15 入室判定委員会について

目的：南部広域行政組合島尻教育研究所における不登校児童生徒のこどもサポートルームの設置及び運営に関する規則第3条及び第9条に基づき、体験入室中の生徒についての入室判定を行う。

南部広域行政組合島尻教育研究所における不登校児童生徒のこどもサポートルームの設置及び運営に関する規則
第3条 指導の対象となる者は、心理的要因等によって登校できない南部広域行政組合教育委員会管内（糸満市、豊見城市、南城市を除く。以下「管内教育委員会」という。）の小・中学校在籍の児童生徒で、第9条第1項の規定により教室における指導が望ましいと判定されたものとする。
第9条 組合教育委員会に入室判定委員会を置き、児童生徒の教室への入室判定を行う。
2 入室判定委員会は、研究所長、指導主事、指導教諭のほか、前条第2項第3号に規定する教育長委嘱した教育行政関係職員及び精神科医師又は臨床心理士等で組織する。
3 第1項の規定により入室を判定された者は、教育委員会がその者の属する管内教育委員会及び当該学校長に通知する。

16 こどもサポートルーム しのめ 協力者会議

(1) 目的

南部広域行政組合島尻教育研究所における不登校児童生徒のこどもサポートルームの設置及び運営に関する規則第8条に基づき、指導援助に当たり、助言を得る。

南部広域行政組合島尻教育研究所における不登校児童生徒のこどもサポートルームの設置及び運営に関する規則
第8条 教室の運営及び児童生徒の指導援助に当たり、助言を得るため、こどもサポートルーム協力者会議（以下「協力者会議」という。）を置く。
2 協力者会議は、10人以下の委員（以下「協力員」という）で組織し、次に掲げる者の内から教育長が委嘱する。
(1)学識経験者 (2)学校関係者 (3)教育行政関係職員 (4)管内教育委員会の教育相談員
3 協力員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠協力員の任期は、前任者の残任期間とする。

(2) 協力者会議委員

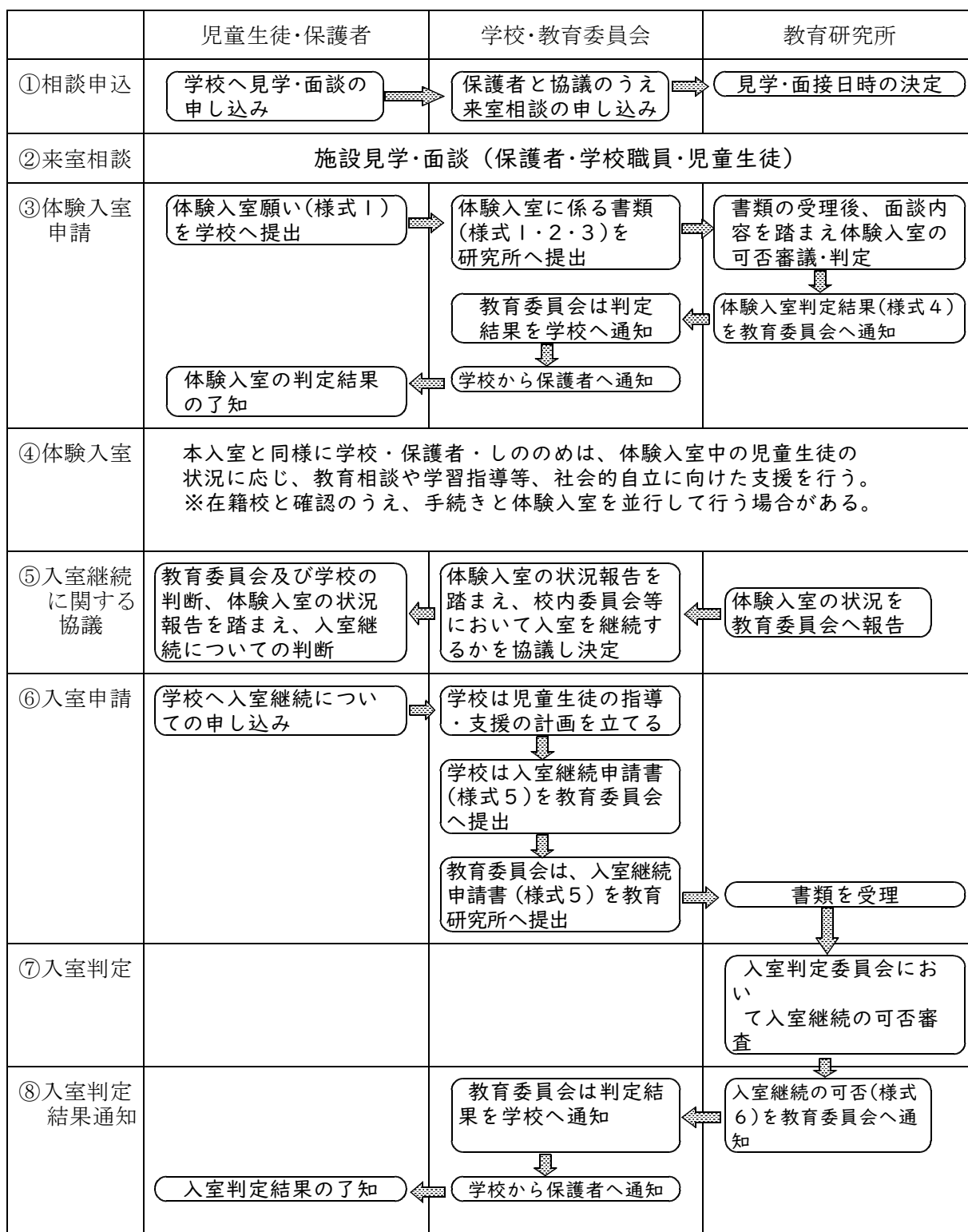
	所 属	役 職	備 考
①	—	—	学識経験者
②	島尻地区校長会会長	校長（小・中〔隔年輪番制〕）	学校関係者

③	島尻教育事務所	主任指導主事（教育相談担当）	教育行政関係職員
	八重瀬町教育委員会	指導主事	
	与那原町教育委員会	指導主事	
	南風原町教育委員会	指導主事	
④	—	公認心理師・臨床心理士	教育相談員

(3) 協力者会議 ※必要に応じて開催

17 受け入れ児童生徒数 児童生徒の受入数については、10名をめどとする。

18 入室の手順と三者の関係



入室までの手順

- 1 **入室に関する話合い**
 - ①学校は「チェックリスト」を参考に、校内委員会等において、児童生徒の生活・学習環境として「しのめ」が最適か協議する。
 - ②校内委員会等における協議、「しのめ」の経営方針等を踏まえ、校長が施設見学を行うか、判断する
- ↓
- 2 **施設見学の申し込み**
 - ①学校は保護者と協議のうえ、「しのめ」担当(所長)と調整し、施設見学を電話等で申し込む。
- ↓
- 3 **施設見学**
 - ①学校は、保護者「しのめ」担当(所長)と調整し、施設見学(児童生徒同伴)を行う。
 - ②施設や入室に関する説明を行う(保護者・学校職員・児童生徒)。
 - ③「しのめ」が児童生徒にとってふさわしい「居場所」となるか等の意見交換を行う。
- ↓
- 4 **体験入室の申請**
 - ①保護者は、体験入室願い(様式1)を学校に提出する。
 - ②学校は、体験入室に係る書類(様式1、2、3)を教育委員会に提出する。
 - ③教育委員会は、体験入室に係る書類(様式1、2、3)を教育研究所に提出する。
[流れ] 保護者(様式1)⇒学校(様式1、2、3)⇒
⇒教育委員会(様式1、2、3)⇒島尻教育研究所
 - ④島尻教育研究所は、実施要項に照らして体験入室の可否を判断し、教育委員会に通知(様式4)する。
- ↓
- 5 **体験入室**
 - ①2週間～4週間程度の体験入室を実施する。
 - ②学校・保護者・しのめは、体験入室中の児童生徒の状況に応じ、相談活動や学習指導、学校復帰に向けた支援等を行う。
 - ③体験入室は、児童生徒の状況を見て、学校、保護者、教育研究所の協議により、学期の終了をめぐりに期間を延長することができる。(体験入室判定)
- ↓
- 6 **入室継続に関する話合い**
 - ①体験入室の期間終了にあたり、学校の校内委員会等において、「しのめ」への入室を継続するか協議する。
 - ②校内委員会等における協議、「しのめ」の経営方針などを踏まえて、校長が入室継続を申請するか判断する
- ↓
- 7 **入室継続の申請**
 - ①学校は、児童生徒の登校復帰に向けた指導、支援の計画を立てる。
 - ②学校は、入室継続申請書(様式5)を教育委員会に提出する。
 - ③教育委員会は、入室継続申請書(様式5)を教育研究所に提出する。
[流れ] 学校(様式5)⇒教育委員会(様式5)⇒教育研究所
- ↓
- 8 **入室継続判定**
 - ①入室判定委員会において入室継続の可否について審査する。
 - ②教育研究所は、入室継続の可否を教育委員会、学校、保護者に通知する。
[流れ] 教育研究所(様式4)⇒教育委員会・学校・保護者
 - ③入室継続については、当該学年の修了時まで継続することができる。
- ↓
- 9 **入室継続**
 - ①更に次年度への継続を希望する場合は、次年度の第1回入室判定委員会に申請し、判定を受けることとする。

立 学校長 殿

こどもサポートルーム しなのめ への体験入室 申請書

下記の通り、「しなのめ」への体験入室を申請します。

記

1 児童生徒

ふりがな		年 月 日生	性別
児童生徒名			男 女

2 保護者

ふりがな		続柄		連絡先	
保護者名		住所			
主な送迎者	父 母 祖父 祖母 その他 ()			連絡先	

3 児童生徒の状況

学校を休んでいるときの 家庭での過ごし方や様子	
入室に対する本人の考え	
入室に対する保護者の考え	

様式2(学校記入→様式1、様式3、添付書類とともに教育委員会に提出)
(教育委員会記入→様式1、様式3、添付書類とともに島尻教育研究所に提出)

南部広域行政組合島尻教育研究所
所長 行

こどもサポートルーム しののめ 体験入室 申請書

【校 長】 年 月 日
立 学校
校長 印

【教育長】 年 月 日
教育委員会
教育長 印

次の児童生徒について、下記のとおりこどもサポートルームしののめへの体験入室を申請します。

ふりがな												第 学年	組	番	男 女
児童生徒名								担任名							
教育相談担当								担任以外で 主に関わる職員							
メールアドレス	(公文書) (担任用)														
不登校の様態 A：いじめ B：いじめを除く他の児童生徒との関係 C：教職員との関係 D：学校生活上の影響 E：無気力 F：不安などの情緒的混乱 G：意図的な拒否 H：その他 ()															
入室させたい理由 (不登校の経緯等)															
しののめ職員への申し送り事項 (健康状態・注意すべき言葉かけや対応等)															
月別出席状況 (第 学年時) ※5月31日以前に提出する場合は前年度の出席状況(計のみ)を記入して下さい。															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
欠席 日数															
出席すべ き日数															
病院受診歴等 (あり・なし) ※不登校に関係すると思われる症状や大きな疾病についてのみ 受診日 年 月頃～ 年 月頃まで・現在通院中 病院名 診断名 診断日 (年 月)															

【留意事項】

- ①原籍校担任は、児童生徒の学習材、課題の準備をお願いします。
- ②「家庭調査票」「時間割」「年間行事予定表」「月行事」「日課表」を添付して下さい。

様式3(学校記入→様式1、様式2、添付書類とともに教育委員会に提出)
 (教育委員会記入→様式1、様式2、添付書類とともに島尻教育研究所に提出)

南部広域行政組合島尻教育研究所
 所長 行

児童生徒の生活・学習等の状況報告書

【校長】

年	月	日
立		学校
校長		印

【教育長】

年	月	日
		教育委員会
教育長		印

次の児童生徒について、生活、学習等の状況について以下の通り報告します。

ふりがな									第	学年	組	番	男	女	
児童生徒名									担任名						
各教科評定(直近を記入)								第		学年		学期		知能検査等の結果(任意)	
国語	生活 社会	算数 数学	理 科	音 楽	図工 美術	保 体	技術 家庭	外国語 英語							
									← 任意						
学習面についての特記事項(登校が少ない場合、未記入でも可)															
生活面についての特記事項(登校が少ない場合、未記入でも可)															
学校への登校復帰に向けた指導・支援の方針、展望、計画															
短期	今後入室から 1～2ヵ月間 程度の対応														
長期	今後数ヶ月か ら1年間程度 の対応														
校長所見(今後の学校としての関わり方について等)															
													校長名	印	

様式5 (学校記入→教育委員会記入→島尻教育研究所)

南部広域行政組合島尻教育研究所
所長 行

こどもサポートルーム しののめ 正式入室 申請書

【校長】 年 月 日
立 学校
校長 印

【教育長】 年 月 日
教育委員会
教育長 印

次の児童生徒について、下記のとおりこどもサポートルームしののめへの入室継続を申請します。

ふりがな			第 学年	組	番	男 女
児童生徒名			担任名			
教育相談担当			担任以外で 主に関わる職員			
継続させたい理由						
特記事項 (特に無い場合は未記入でも可)						
保護者の要望 (特に無い場合は未記入でも可)						
学校への登校復帰に向けた指導・支援の方針、展望、計画						
短期	今後1～2 ヵ月間程度 の対応					
長期	今後数ヶ月 から1年間 程度の対応					
校長所見 (今後の学校としての関わり方について等)						
校長名						印

島尻教育研究所逍遙歌

むくえのながれゆるやかに
あさひにはゆるきびーのはーら
おしえのみちをきわーめんーとつど
いしわれらいきたかーし

島尻教育研究所逍遙歌

作詞 宮城恒彦
作曲 親泊明美

一 報得の流にゆるやかに
朝陽に映ゆるまきびの原
指導の道を究めんと
集いしわれら意気高し

二 辿る道程 厳しけど
友の情に 涙して
明日に灯 ともさんと
語る仲間の 声やさし

三 遙かに望む 八重瀬岳
うつろふ雲は 綾なして
ぬぐうへ急ぐ 群れ鳥に
光ほのかな 宵の星

一九九六年五月十三日

南部広域行政組合 島尻教育研究所

所長 末吉 松祥

〒901-0401

沖縄県島尻郡八重瀬町字東風平965番地

TEL 098-998-9561 FAX 098-998-9420

E-mail info-simaken@nanbukouiki-okinawa.jp

URL <http://www.nanbukouiki.okinawa.jp/>